

厚生労働省
平成27年度老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムのあり方検討
ー通い場の創出と支え手育成の仕組みづくりー
調査研究事業報告書

平成28年3月
一般財団法人 健康・生きがい開発財団

目次

1. はじめにー超高齢社会と地域包括ケアシステムの捉え方.....	4
2. 本事業の考え方.....	5
(1) 本事業の目的.....	5
(2) 事業概要.....	6
(3) 実施体制（委員会・作業部会）.....	7
3. 高齢者の社会参加に関する基本的考え方.....	9
(1) これからの高齢社会の捉え方.....	9
(2) 高齢者の社会参加に関する先行研究の概観.....	10
(3) 高齢者の社会参加のあるべき姿.....	11
4. 私たちが考える地域包括ケアシステム＝「自立型地域包括ケアシステム」.....	12
(1) 「あんしん」と「いきいき」で考える地域包括ケアシステム.....	12
(2) 地域資本で賄う地域社会保障の考え方.....	13
5. 先駆的事例調査.....	14
(1) ベース調査.....	14
(2) 詳細調査.....	17
(3) 調査結果のまとめ.....	48
6. 報告会開催.....	52
7. 自立型地域包括ケアシステムに向けて.....	53
(1) 超高齢社会と地域包括ケアシステムの考え方.....	53
(2) 暮らしのサービスを充足するための「地域資本」と「地域社会保障」の考え方.....	53
(3) 自立型地域包括ケアシステムの土台となるもの.....	54
(4) おかげさま・おたがいさまのまちづくりモデルが目指す姿.....	55
(5) おかげさま・お互いさまのまとづくりの進め方.....	56
8. おわりに.....	62
参考資料.....	63
(1) ベース調査一覧 全国事例調査結果一覧.....	63
(2) おかげさま・おたがいさまのまちづくりガイドブック.....	

1. はじめに一超高齢社会と地域包括ケアシステムの捉え方

団塊世代が大量退職を迎えるこの時代、定年退職した途端まったく社会との接点をなくしてしまう人も少なくない。定年退職後の主な不安に、「健康」「経済的支え」に加え、「生きがい」が挙げられる。また、老年期の主観的幸福感を規定する要因のうち、重要なものに「健康状態」「社会経済的地位」「社会的活動」が挙げられている。

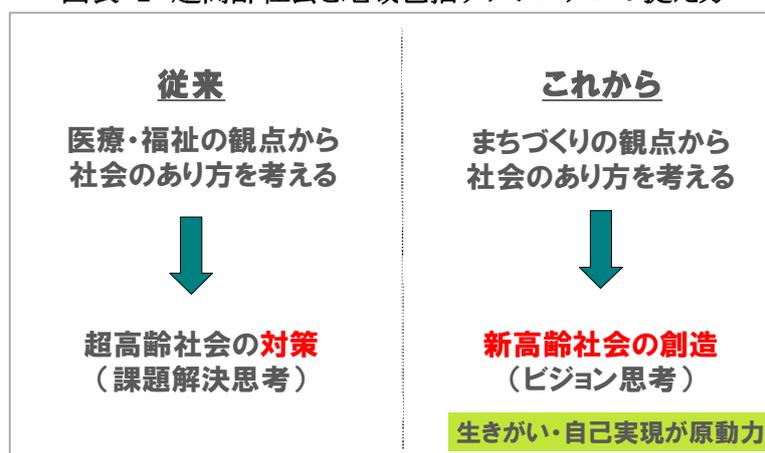
これからの社会は、経験や知識が豊富で元気なシニア層が、定年を迎えると同時に、居住地域社会に回帰し、会社・仕事中心の生活から、家庭・地域中心の生活に変わっていくことになる。このような状況において、団塊世代を中心とした高齢者の社会参画をスムーズにし、地域での役割と居場所をつくっていくことが、個人の健康、生活の自立を促すとともに、個々が有する様々な能力は、まちの資産となり、まちを動かす原動力になると考えられる。

これまでの高齢者施策は、医療・福祉の観点から捉えられることが多く、社会保障費などの影響をいかに抑えられるかといった、課題解決思考に基づく「超高齢社会の対策」として論じられることが多かった。

しかし、これから私たちが迎える社会はこれまでに誰も経験したことがない社会である。そしてこの社会の中心的存在となりえる高齢者の多くは、従来の支えられる側存在ではなく、社会の支え手となれる体力、気力そして知力も持ち合わせている。元気高齢者が持つ生きがいや自己実現に向けたエネルギーは、まちを支え動かす大きな原動力になると感じている。

そこで、私たちは超高齢社会と地域包括ケアシステムの考え方を、社会の変化に合わせてながら新しい暮らしの仕組みをつくっていくまちづくりであると捉え、「**新高齢社会の創造**」をいかに行うかが、地域包括ケアシステムづくりにおいて重要な視点であると考えている。このことが、人々の真の暮らしの充実につながり、持続可能な社会保障システムにもつながるのではないだろうか。

図表 1 超高齢社会と地域包括ケアシステムの捉え方



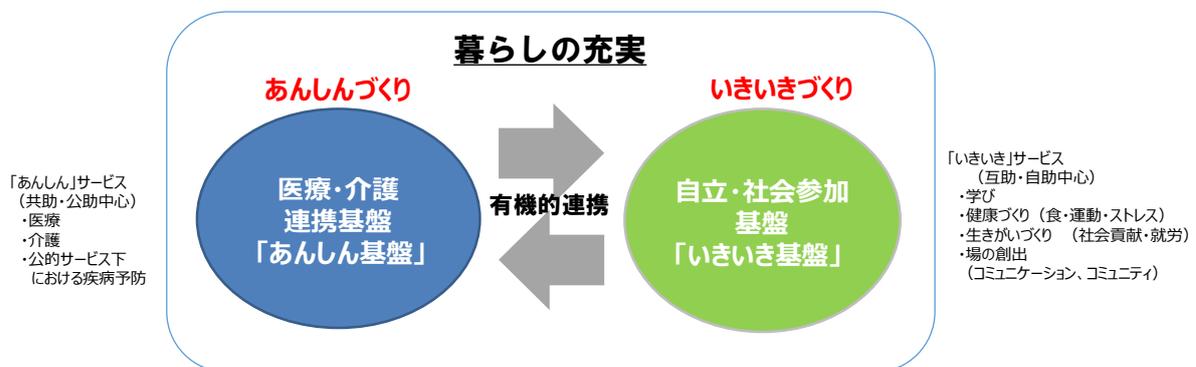
2. 本事業の考え方

(1) 本事業の目的

地域包括ケアシステムは、医療・介護の連携基盤を核とする「狭義の地域包括ケアシステム」だけでなく、高齢者の生きがい・就労を軸とした社会的参加を通じて、できるだけ自立して生活を支援する「広義の地域包括ケアシステム」のあり方も併せて検討していくことが重要である。

私たちは平成 25、26 年度の老人保健健康増進等事業において、下図に示すように、「あんしん」と「いきいき」の2つの視点からなる基盤構築の重要性を示唆し、自治体における取組み状況や課題点の調査を進めてきた。その結果、自治体の現状は「狭義の地域包括ケアシステム」を構築することで手いっぱいであり、社会参加を通じた地域包括ケアシステムである「いきいき基盤」の領域については、重要性は認識しつつも、具体的な手法やノウハウを十分に持ちえず、基盤構築が進んでいない現状が窺えた。

図表 2 狭義・広義で考える地域包括ケアシステムの概念



そこで本事業では、高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムのあり方検討を行うため、主に以下の3つの事業を行うこととする。

- 事例調査に基づくあり方検討
地域（高齢者を含む地域団体など）が主体となって取り組む社会参加を促進する仕組みや、その結果生活の自立促進や就労につながっている事例など全国の先駆的取り組みを収集・整理・分析する。
- 実務者向けガイドブック作成
事例の詳細分析・検討をふまえながら、地域包括ケアシステムを展開していくうえで、有用となる考え方や実践事例などに基づき、今後暮らしに関わる地域の人々が主体となって地域包括ケアシステムを展開していく際の実務者向けのガイドブックを作成する。
- 学習・交流機会の提供
調査研究成果を関係者などへ広く情報発信するとともに、報告会を開催することで、地域の暮らしに関わる多様なメンバーが互いを知り、交流・連携できる機会を設ける。

これらにより、高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムの構築推進を図っていくことを目的とする。

(2) 事業概要

上記の目的を実現するため、以下の事業を実施する。各項目の実施内容の詳細は、後述のとおりである。

図表 3 調査項目および調査概要

調査項目	調査概要
(1) 調査の枠組み検討	➤ 高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムの構築を進めるうえで、効果的な取組みを検討する上で有用となる情報収集を行うため、調査枠組みの検討を行う。
(2) 先駆的事例のベース調査	➤ 文献・WEB調査に基づき、高齢者などの社会参加を通じた地域包括ケアシステムの構築の視点として参考となる先駆的事例の基礎調査を行う。(調査対象:約100事例)
(3) 詳細調査・分析	➤ 今後地域で実践していく場合の具体的なあり方検討を行うため、ベース調査の中から他地域での事業展開の参考となる事例を選定し、詳細調査・分析を行う。(調査対象:約30事例)
(4) 取組みの分析 機能・要件の検討	➤ 調査結果から、高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムの構築を進めるにあたり、特に地域が主体となって事業を展開する上で鍵となる機能・要件の検討を行う。
(5) ガイドブック作成と 報告会開催	➤ 地域の暮らしに関わる様々な関係者が取組むべき方向性と役割を考えるきっかけとするために、ガイドブックの作成を行うとともに、調査報告会を開催する。
(6) とりまとめ	➤ 調査結果に基づき、高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムのあり方をまとめ、報告書を作成する。

(3) 実施体制（委員会・作業部会）

■ 委員会の開催

委員会は、事業実施に関する方向性の検討や指導助言を得る目的で、学識経験者および実務経験者を委員に選任し、以下の内容で開催した。

図表 4 委員構成

所属	氏名
一般社団法人 健康・福祉総研 理事長	國松 善次
東京大学高齢社会総合研究機構 准教授	飯島 勝矢
株式会社ルネサンス 常務取締役執行役員	高崎 尚樹
一般社団法人健康生きがいサポート互助会 理事長	土山 彌一郎
社会福祉法人一麦会 特別監事	市野 弘
群馬医療福祉大学短期大学部 教授	白井 幸久
滋賀県南部健康福祉事務所 副主幹	中西 大輔
公益社団法人松山市シルバー人材センター センター次長	柳原 祐二
一般社団法人滋賀県健康生きがいづくり協議会 理事	宮川 俊夫
東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員	神谷 哲朗
オブザーバー 一般社団法人健康生きがいサポート互助会	松永 正明
オブザーバー 一般社団法人ワークワーク 代表理事	萩原 義文

図表 5 委員会開催内容

	開催日	内容
第1回	平成27年7月31日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業概要説明 ➤ 事業の進め方の検討・協議
第2回	平成27年12月3日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業進捗状況報告 ➤ 調査（中間結果）報告 ➤ あり方・機能要件に関する検討
第3回	平成28年3月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査結果報告 ➤ あり方・機能要件のまとめ ➤ ガイドブック案の検討 ➤ 最終報告に向けて

図表 6 委員会風景



■ 作業部会について

検討委員会の事前準備、事後の検討結果のまとめなどを行うため、月1回程度で作業部会を開催した。

図表 7 作業部会メンバー

所属	氏名
一般財団法人 健康・生きがい開発財団	大谷 源一
	大熊 謙治
	藤村 宣之
株式会社 クレメンティア	荒尾 裕子
	明海 亜紀
	本間 潤

図表 8 作業部会開催内容

開催日	内容	開催日	内容
平成27年6月15日	事業方針検討	平成27年11月9日	詳細調査について
平成27年7月6日	調査設計検討	平成27年12月1日	詳細調査について
平成27年8月3日	調査対象選定	平成28年1月12日	あり方検討
平成27年9月4日	ベース調査について	平成28年2月8日	調査要約
平成27年10月15日	ベース調査について	平成28年3月4日	ガイドブック検討

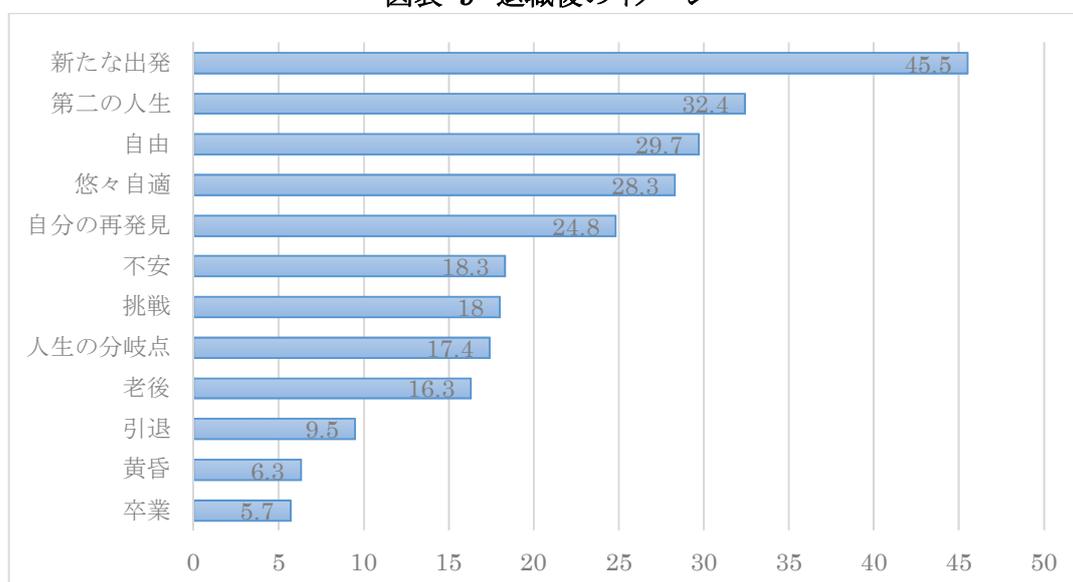
3. 高齢者の社会参加に関する基本的考え方

(1) これからの高齢社会の捉え方

高齢社会という、とかく団塊世代の大量退職や高齢者を社会で支える仕組みづくりの対策という課題面がクローズアップされがちであるが、団塊世代が退職するポジティブな面のひとつとして、職業経験が豊富で優秀な人材が地域社会に戻ってくることが挙げられる。更に高齢者の就労や社会参加を促進することは、疲弊しがちな地域の新たな活力として捉えることができ、国民医療費や介護費の削減につながる可能性もある。

博報堂エルダービジネス推進室（2005）の団塊世代を対象にした調査によれば、退職後の人生に関するイメージは、「第2の人生」（32.4%）よりも「新たな出発」（45.5%）の方が多くなっており、「老後」という考え方に変化が表れていると報告している。社会から引退するのではなく、社会の中に新たな活躍の場を求める団塊世代の意識が反映された結果と思われる。また、「定年後社会的役割を持ちたいか」という問いに、団塊世代の6割以上（62.4%）がそう思うと回答し、他世代よりも多い傾向がうかがえた。

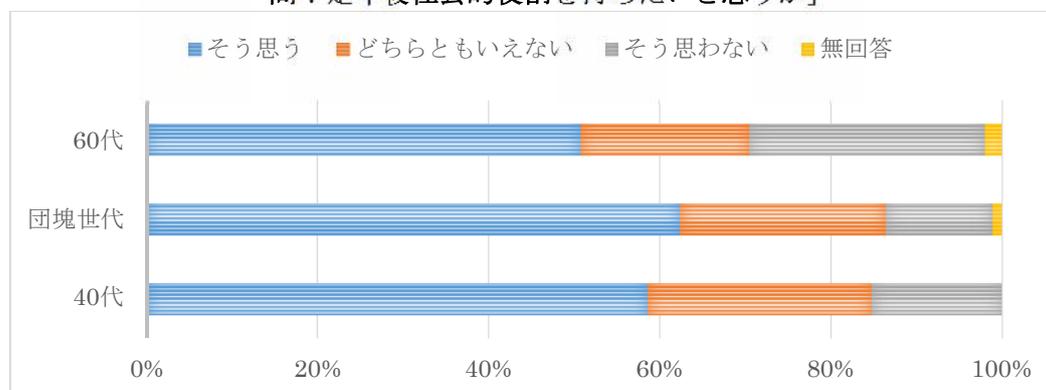
図表 9 退職後のイメージ



資料元：「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」博報堂エルダービジネス推進室（2005）

図表 10 参考:定年(引退)後の社会的役割意向有無

「問：定年後社会的役割を持ちたいと思うか」



資料元：「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」博報堂エルダービジネス推進室（2005）

(2) 高齢者の社会参加に関する先行研究の概観

本事業では、高齢者の社会参加という視点をふまえながら地域包括ケアシステムのあり方検討を行うことを目的としている。そこで、高齢者の社会参加の基本的考え方について、先行研究をもとに整理を行った。

① 高齢者の社会参加に関する制度・政策の概観

■ 高齢者の社会参加のはじまり

1963年に「老人福祉法」が制定され、法律第3条においては老人自身が「知識と経験を活用して、社会的活動に参加するように努める」「老人は適当な仕事に従事する機会その他社会的活動に参加する機会を与えられる」ことが規定された。この法律以降、高齢者の社会参加は在宅高齢者福祉の1つの柱となり、地域活動の観点からは、老人クラブ活動の展開、就労の観点からは国庫補助の就労支援、学習という観点からは、生きがい事業も始まった。

■ 高齢者像の転換

1988年の「福祉ビジョン」において、高齢者像の捉え方は従来の「保護や援助の対象」から、「社会参加の主体」へと変化しはじめた。そして1995年の「高齢社会対策基本法」では、生涯学習や社会参加活動の促進支援がより強調されるようになり高齢者に関する制度・政策が多く導入された。

■ 介護保険制度の開始

介護保険制度の実施と見直しにより、社会参加は介護予防の新たな役割を果たすことが求められてきた。地域包括ケアシステム概念においても、生きがい、社会参加というキーワードが用いられている。更に、「安心につながる社会保障」などの実現を目的とする「一億総活躍社会」において、生涯現役社会の構築が求められるようになった。

② 高齢者の社会参加の定義

高齢者の社会参加の定義は、先行研究の考え方に基づくと、「仕事」「個人的活動」「社会的活動」と「学習的活動」の4側面の枠組みにより検討されている。更に、社会参加の規定要因としては、「基本属性」「身体状況」「経済状況」「心理状況」「地域環境」「社会環境」という6側面に分類されている。

ただし、いずれの研究においても、社会参加の定義・内容の統一性の無さ、対象者の一般化困難性、調査方法の一偏性、規定要因の不足性が、高齢者の社会参加に関する研究の不十分さ・難しさの要因とされている。加えて、国が示す制度・政策において、社会参加の定義、内容、対象者が明確に規定されていないことが指摘されている。

③ 高齢者の社会参加に関する先行研究要約

先行研究の概観から、高齢者の社会参加という概念は、様々な場面で用いられ、かつこれからの超高齢社会において重要な鍵となってきたことは社会の共通認識になっている。しかしながら用語の定義も含め、その規定要因は様々である。

そのため、高齢者の社会参加のあり方として正解モデルがあるわけではなく、これから先の社会のありようを自分たちがどのように考え、高齢者の社会参加をどのように意味づけるのか、社会の仕組みとして構築していくかは、個々の取り組み方にゆだねられているといえる。

(3) 高齢者の社会参加のあるべき姿

上述のような状況をふまえ、本調査研究を進めるにあたり、有識者メンバーによる委員会において高齢者の社会参加のあるべき姿に関する議論を行った。これらの結果をふまえ、本調査研究における高齢者の社会参加のあるべき姿とは、次のような要件を含むものとして捉えることとする。

- 「生きがい」「働きがい」「学びがい」「世話しがい」など、人それぞれが目的を持って人生を楽しめる社会であること。その前提として、本人が健康であること。
- 「生涯現役」をキーワードとし、「税投入」が必要になる高齢者ではなく、仕事や資産運用などを通じて「納税できる」高齢者が増加する環境であること。
- 家庭以外に、居場所があり、役割（又は仕事）があり、仲間がいること。
- 日常生活の中であたりまえの環境としてあるもの（無意識に社会参加している状態）。
- 「職業生活」から「地域生活」へ移行するための再教育や支援の取組みがあること。
- おまかせで享受される環境において果たすものではなく、自分たちが主となって地域の中に自分たちのまちにあった姿を創っていくもの。
- 高齢者だけに限定した縦割りの活動ではなく、あらゆる対象を横串にした、社会参加の形であり、コミュニティ単位で包括的にとらえるもの。

4. 私たちが考える地域包括ケアシステム＝「自立型地域包括ケアシステム」

(1) 「あんしん」と「いきいき」で考える地域包括ケアシステム

国が示す「地域包括ケアシステム」は、社会保障のサービス体系を再構築するための政策理念として掲げられている。それぞれの地域性に立脚しながら、医療・福祉・介護および住宅政策を包含し、さらに自助と互助を含めたインフォーマル部門に目配りをしながら、地域生活の継続のために切れ目のない支援が行われるような体制の構築を目指すものである。

それに対し、私たちが目指す地域包括ケアの基本的な考え方は、顕在化している高齢者の生活課題に対応するための対処療法的な「地域包括ケア（狭義）」だけでなく、受け身的な概念の枠を超えた自立・持続可能な社会システムとして、地域が主体的に考え、自助・互助の割合を高めることを第一に意識した、広義の地域包括ケアである。

特にいきいき基盤の領域において、高齢者の社会参加の仕組みづくりを1つの柱としながら、その財源確保も含めて社会システムのあり方を検討していく必要がある。

具体的には、以下のように考えている。

- ◎ 私たちが考える地域包括ケアシステムは、社会を支える仕組みであり、人々の暮らしの充実をどのように図るのかを考えながら地域ごとに創り上げる”まちづくり”である。
- ◎ 私たちが考える地域包括ケアシステムは、「あんしん」と「いきいき」の2つの基盤から成り立つ。この2つの基盤が揃うことで、暮らしの充実を図ることができるとともに、持続可能な社会システムとして機能すると考える。

図表 11 私たちが考える地域包括ケアシステム



- 「あんしん基盤」とは医療・介護の連携を行い、住み慣れた地域で高齢になっても可能な限り長く、安心して暮らせるための基盤。(共助・公助中心)
- 「いきいき基盤」とはできるだけ医療・介護のお世話にならないよう、地域で自立していきいきと暮らしていただけるための基盤。(互助・自助中心)

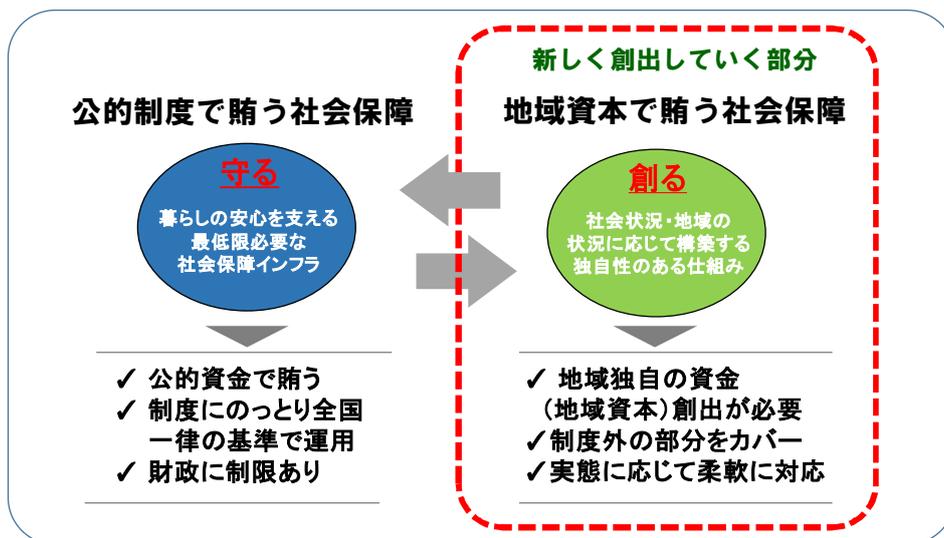
(2) 地域資本で賄う地域社会保障の考え方

これまでの私たちの社会は、公的社会保障に下支えされた暮らしのサービスが中心であったが、公的社会保障の財源問題や、制度に当てはまらない案件への対応など様々な懸案事項も出始めている。そこで、これらの顕在化している課題解決に加え、より暮らしの機能や価値を高めていくには、地域独自で新たな地域資本を生み出しながら、暮らしの充実を図っていく「地域社会保障」の体制構築が必要である。

地域資本を生み出す方策としては、地域が有する資産である「人」、「資源」そしてこれらを活用して「創出される産業や暮らしのサービス」によって生まれる財がその源泉になると考えられる。

公的社会保障に加え、地域独自の基盤が構築されることで、公的社会保障の範囲では賄いきれないサービスや、新たな地域ニーズに柔軟に対応することが可能になる。またこの創出される新たな場は、高齢者をはじめとした地域の人々の社会参加や就労といった社会的役割を創出する場にもなり得る。

図表 12 新高齢社会の創造による自立型地域包括ケアシステムの構築



資料元：筆者作成

5. 先駆的事例調査

(1) ベース調査

■ 調査概要

従来の地域包括ケアシステムに関する調査研究は、いわゆる「あんしん基盤」に重点がおかれており、見守り支援やケア体制の構築を中心としたものが多かった。本調査では、高齢者の自立支援を意識した生きがいや社会参加の観点から、「いきいき基盤」を軸に調査を行っている。

本調査では網羅的かつ効率的に調査するため、ベース調査として先行研究の成果をふまえながら文献およびweb調査にて100の事例調査を行った。

また、収集した事例は、社会参加の基本的定義である4側面「仕事」、「個人的活動」、「社会的活動」と「学習的活動」の枠組をより詳細に8つのカテゴリーに分け整理を行った。

図表 13 社会参加の4側面と8つのカテゴリー

社会参加の4側面	8つのカテゴリー
個人的活動	①居場所
社会的活動	②生きがい ③助け合い ④地域活性
学習的活動	⑤健康づくり、介護予防 ⑥生涯学習
仕事	⑦就労(生きがい就労) ⑧就労・起業(知識やスキル活かした)

■ 調査結果

調査結果の詳細は、以下のとおりである。

図表 14 ベース調査事例分類(100事例)

事業主体	事例	①居場所	②生きがい	③助け合い	④地域活性	⑤健康介護	⑥生涯学習	⑦生きがい就労	⑧知識就労
NPO など	みぬまハウス・大和田	○		○			○	○	
	街かどデイハウス「晴耕雨読舎」	○	○			○			
	かーちゃんのカ・プロジェクト協議会	○	○	○					○
	きらめきライフ多摩		○					○	
	みたか便利屋ネット		○	○				○	○
	世田谷地域デビューの会	○	○				○	○	
	きよぴー&とまと	○	○					○	
	くらし協同館なかよし	○	○			○	○		
	湘南ふじさわシニアネット	○	○						○
	南光だ！雲母倶楽部							○	
	シニア人財倶楽部	○		○	○				○
	ユーアイネット柏原			○				○	
	よろず相談コミュニティカフェ	○		○					
	アクティブファーム・せと	○	○			○			
	暮らしの保健室					○			
	チャンプルーの会	○		○		○		○	
	オトパ八王子	○	○	○					
	上尾アブセック			○	○				○
	かながわ子ども教室		○	○					○
	ミニデイ「おとこの台所」		○	○					○
長崎さるくガイド		○		○			○		
イーハトーヴの住人		○	○		○				

	かんじゆく座			○						
	福祉劇団「鶴亀」			○			○			
	エトセトラ			○		○			○	
	友愛リーダー会			○	○			○		
	チーム農援隊(さいたま)			○	○	○	○		○	
	子ども会フェスティバル			○		○				
	常設型地域の茶の間「うちの実家」	○			○					
	みんなのお茶の間 くるくる	○			○					
	時間通貨・ありがとう	○			○		○		○	
	すずの会	○			○					
	コーデ騎士団				○					
	神戸定住外国人支援センター	○			○					
	京都コリアン生活センター エルファ	○			○					
	平野まちぐるみ博物館			○		○				
	おたがいさまセンター	○			○		○		○	
	カフェ・デ・モンク	○			○		○			
	あかねグループ				○	○				
	とかしシニアネット			○					○	
	田辺市ICT情報交流サロン			○		○		○		
	莫祢ゴールド創世塾			○		○			○	
	杜のつどい	○				○		○		
	長浜プラチナブラザ	○						○		
	どこでも介護				○	○				
	生活バス四日市				○	○				
	カフェ型保健室しらかば	○			○		○			
	市民後見人の会				○		○			
	つまごい竹の子グループ				○				○	
	ASUの会			○				○	○	
	ヴィエムシイ				○				○	
	生きがい110番	○	○				○	○		
	鴨居みかん台ボランティア会	○			○	○		○		
企業 福祉 など	シェア金沢	○			○					
	ゴジカラ村	○	○	○			○		○	
	麦の郷		○	○					○	
	C・ネットグループ		○						○	
	創心會				○		○			
	元気スタンド・ぷリズム	○			○		○			
	幸せ手伝い隊				○	○			○	
	プチモンドさくら	○			○					
	シニアワークセンターとよなか								○	○
	コミュニティ銭湯「ぬくもりの湯」	○				○	○			
	那須100年コミュニティ	○	○	○						
	土澤・新長屋暮らし	○			○	○				
	株式会社しまの会社	○			○					
	株式会社やねだん	○			○	○				
	豊田百年草事業									○
	大船渡屋台村	○								○
	葉っぱビジネス「彩(いろどり)事業」					○				○
	シニア SOHO 普及サロン・三鷹	○	○							○
	商店街送迎自転車サービス					○	○			
	医商連携・那覇栄町市場商店街					○		○		

	東京農業大学グリーンアカデミー		○				○		○
	須崎日曜日・木曜日		○		○			○	
	高齢者困りごと援助サービス			○				○	
	ボランティアバンク おたすけ隊			○				○	
	農事組合法人 国府野菜本舗				○				○
	こぶし園	○		○		○			
	伝統野菜プロジェクト「楽畑」		○		○				○
自治 体	みま～も			○	○				
	いなべ市農業公園		○		○			○	
	長野県川上村				○	○	○	○	
	三鷹いきいきプラス		○	○					○
	栗東 100 歳大学		○		○	○	○		
	高年大学		○				○		
	富岡製市場解説員の会		○		○				
	フレイルサポーター		○	○		○			
	スポーツボイス大学院	○				○	○		
	図書館サポーター		○	○				○	
	ふれあい住宅			○					
	大山自治会			○		○			
	多摩平 団地再生	○			○				
	村丸ごと生活博物館		○		○				○
	むらの技能伝承士				○				○
	江戸川総合人生大学						○		
	ねこのて手帳				○				
	NICE！ 藤井寺 親父パーティー		○	○					○
	まちづくり推進隊				○	○	○	○	
	かごしま県民交流センター		○				○	○	
棚倉ふるさとガイド		○		○			○		

(2) 詳細調査

ベース調査の事例の中から 30 事例をピックアップし、立ち上げの経緯、活動のポイント、活動内容などを詳細にとりまとめた。30 事例の詳細は、P18~47 に示すとおりである。

事例の選定にあたっては、先行研究および本委員会で議論した社会参加のあるべき姿に基づき、以下の 4 つの視点で行った。

< 4 つの視点 >

- ①社会参加の視点：高齢者などの生きがい・社会参加の基盤を構築している特色ある事例
- ②地域性の視点：まちの課題や特性を踏まえた独自性のある事例
- ③まちづくりの視点：まちに暮らすあらゆる対象を含んだコミュニティ単位の包括的事例
- ④事業性の視点：自立性・持続可能性の観点から事業性を踏まえて構築されている事例

図表 15 詳細事例分類(30 事例)

運営主体	事例	社会参加	地域性	まちづくり	事業性
NPO など	No.1 みぬまハウス・大和田	○	○	○	
	No.2 街かどデイハウス「晴耕雨読舎」	○	○		
	No.3 かーちゃんの力・プロジェクト協議会	○	○	○	○
	No.4 きらめきライフ多摩	○		○	
	No.5 みたか便利屋ネット	○			○
	No.6 世田谷地域デビューの会	○		○	
	No.7 きよびー&とまと	○	○	○	
	No.8 暮らし協同館なかよし	○	○	○	
	No.9 湘南ふじさわシニアネット	○			○
	No.10 南光だ i 雲母倶楽部	○			○
	No.11 シニア人財倶楽部	○	○	○	○
	No.12 ユーアイネット柏原	○	○		
	No.13 よろず相談コミュニティカフェ	○			○
	No.14 アクティブファーム・せと	○	○		
	No.15 暮らしの保健室	○	○		
	No.16 チャンプルーの会	○	○	○	○
企業 社福 など	No.17 シェア金沢	○	○	○	
	No.18 ゴジカラ村	○	○	○	○
	No.19 麦の郷	○		○	○
	No.20 C・ネットグループ	○			○
	No.21 創心會	○		○	○
	No.22 幸せ手伝い隊	○	○		○
	No.23 プチモンドさくら	○		○	○
	No.24 シニアワークセンターとよなか	○			○
	No.25 みま〜も	○	○	○	○
自治体	No.26 いなべ市農業公園	○	○		○
	No.27 長野県川上村	○	○	○	○
	No.28 三鷹いきいきプラス	○			
	No.29 栗東 100 歳大学	○		○	
	No.30 高年大学	○			

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり		事業性

No.1 みぬまハウス・大和田

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：埼玉県さいたま市

U R L：<http://www.minuma-hausu.net/index.html>

活動概要：「さいたま市見沼区介護・福祉マップ」づくりで出会ったメンバーが中心となり、商店街の一角で地域の人々が「いざという時に頼れる仕組み」「多世代が集う居場所」づくりを行っている。

■目的・狙い

地域で暮らす人同士が「お互いさま！」と言って助け合える関係と、「このまちで暮らし続けたい」と願う高齢者や障がい者、子育て中の方など誰もが参加でき、いざというときに安心して頼れる仕組みを持った、みんなの「居場所」づくりを目指して活動を行っている。

■事業内容

対象は全世代。大和田商店街にある「みぬまハウス大和田」にて、①地域のボランティアが介護保険外で行うクラブ活動「ミニデイサービス」、②コミュニティカフェ・「見沼学」連続講座・「暮らしのマナー学」講座の開催、③手づくり品や不用品（新品）などの販売、④会員同士が相互に助け合う生活支援サービスのコーディネート、⑤葬儀支援や介護相談などのよろず相談、⑥リサイクルの仲介（介護用品など）を行っている。

■立ち上げの経緯

2006年「さいたま市見沼区介護・福祉マップ」づくりで出会ったメンバーが、2008年に埼玉県のシラコバト基金を得て「多世代が集う地域の茶の間」でランチの会を開始。このランチの会で知り合った、地域で自然保護活動やデイサービス・配食サービスを行っている主婦たちがメンバーとして加入。その後、大和田商店街の一角に場所を得て「歳をとっても安心して暮らせるまちづくり」を進めるために、2010年3月に特定非営利活動法人みぬまで暮らす会を設立した。

■活動のポイント

誰もが気軽に集えるコミュニティカフェにおいて、いざというときのための相互扶助の関係づくりを促進。地域の幅広いニーズに対応するために活動の幅を広げている。

○	社会参加	○	地域性
	まちづくり		事業性

No.2 街かどデイハウス「晴耕雨読舎」

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：大阪府高槻市

U R L：http://npo-takatsuki.org/seikou-udoku/2007/11/post_21.html

活動概要：里山の自然の中、農作業を取り入れた園芸福祉を通じて高齢者の仲間づくり・介護予防を推進。

■目的・狙い

人と自然が共生する新しいライフスタイルを創造するために、世代の違いや障がいの有無を問わず全ての人が集い、ふれあいの中でお互いを認め合い、助け合い、生きがいを見つけることができる地域コミュニティの拠点を提供することを目指している。

■事業内容

高槻市が行っている事業である介護保険サービスを受けていない65歳以上の高齢者を対象にしたデイサービス事業「街かどデイハウス」の一環として特定非営利活動法人たかつきが運営している。

地域高齢者の介護予防と生きがいづくりを目的に、園芸を取り入れた福祉活動を実施。利用者が自分の区画で野菜を育て収穫する農業体験が人気を集めている。農作業のほか、採れたての野菜を使った食事や竹細工を一緒にすることで、仲間意識が育ち孤独感が癒され、心身の機能の低下を遅らせることも期待できる。

■立ち上げの経緯

2001年に自然環境問題の改善を目指して法人を立ち上げる。同年、街かどデイハウス「晴耕雨読舎」の活動を開始。福祉活動を中心に子どもを対象にした自然体験活動なども行っている。

■活動のポイント

里山を活用した自然の中で、園芸を取り入れて行う介護予防事業が特徴。高齢者の生きがいづくりだけでなく、健康づくりにも貢献している。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.3 かーちゃんのカ・プロジェクト協議会

運営主体：地域特定非営利活動法人・国立大学法人など

活動地域：福島県福島市松川町

U R L：<http://www.ka-tyan.com/>

活動概要：被災した「かーちゃん（女性農業者）」が力を合わせて道具や機械を持ち寄り、故郷の味・おふくろの味であぶくま地域を元気にするプロジェクト

■目的・狙い

原発事故で避難を余儀なくされた「かーちゃん（女性農業者）」たちが持つ知恵やスキルを活かせる場をつくり、故郷の味・おふくろの味であぶくま地域を元気にすることを目指している。

■事業内容

福島県東部のあぶくま地域（川俣町山木屋、浪江町津島、飯舘村、葛尾村、田村市都路町、川内村）で、被災した女性農業者が中心となり、健康弁当・会議弁当・仕出し弁当などの生産販売、漬物や菓子など加工食品の製造販売、コミュニティ茶ロン「あぶくま茶屋」での飲食の提供および物販加工食品や弁当の販売を行っている。

営利事業のほか、避難地域の種や加工文化を他の地域に一時避難させたり、仮設生活者・帰還者に対する配食や見守りを行うなど、避難者の支援、安全安心な食の提供、伝統文化や知恵の継承、情報発信といった非営利事業にも力を入れている。

■立ち上げの経緯

原発事故により避難を余儀なくされた主にあぶくま地域のかーちゃん（女性農業者）たちが、故郷の味をつくりながら自立を目指すべく、2011年10月に「福島大学小規模自治体研究所」の支援を受けて立ち上げた。

■活動のポイント

女性農業者の就労・生きがいづくりとしての側面だけでなく、故郷の味・おふくろの味を通じた地域活性化としての側面も持つ。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり		事業性

No.4 きらめきライフ多摩

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：東京都三鷹市

U R L：<http://www.kiramekilifetama.sakura.ne.jp/index.html>

活動概要：理科離れが進む子どもたちを対象に、シニアが講師となり理科実験教室を開催。シニアの活躍の場所と生きがいづくりを行っている。

■目的・狙い

「地域社会の再生」の担い手となり、地域のきずなの復活、コミュニティの再生、社会資源の復活、地域福祉の活動の活性化を目指す。先駆的かつ継続的な地域貢献活動を行うとともに、新たな社会活動、地域活動に参画する多世代に対して情報の発信を行い、関連団体と連携し活動の活性化を図る。

■事業内容

対象は高齢者と子どもが中心。東京都多摩地域で他団体と連携しながら、シニアによる地域連携子ども教室、特に子ども電気実験教室を行っている。この教室は高齢者が子どもと交流し合う機会でもあり、子どもの笑顔はこの事業に参加した高齢者の生きがいにつながっている。

そのほかにも、高齢者の居場所となるコミュニティカフェを運営。このコミュニティカフェでは、認知症予防のための「脳の健康教室」を始めとした各種体験教室、周辺サークルへの講師派遣支援、事業のサポーターの育成などを行っている。

■立ち上げの経緯

2007年に東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会三鷹・武蔵野支部として発足し、2010年には任意団体きらめきライフ多摩を設立。2012年2月に特定非営利活動法人化。介護予防を通じて福祉の増進を図る活動事業、まちづくりの推進を図る活動事業、子どもの健全育成を図る活動事業を行い、市民の力を活かすとともに市民参加を推進し、広く一般市民を対象に暮らしやすい明るいまちづくりの実現を目指す。

■活動のポイント

子どもたちを対象にした理科実験教室を開催し、シニアの活躍の場、子どもたちとふれあえる生きがいづくりの場を創出している。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.5 みたか便利屋ネット

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：東京都三鷹市

U R L：<http://jsjc.web.fc2.com/>

活動概要：地域のアクティブシニアを集めて働く場を提供するとともに、シニアたちの生きがいとなるコミュニティづくりに取り組んでいる。

■目的・狙い

いろいろな経験・知識・創造力・逞しさ・意志・情熱を持ったシニアが、自分たちに適した事業を開拓し、運営・実施していくことを目標している。

■事業内容

シニアの新たな就業のための相互支援グループ。三鷹市の中心部に拠点を置き、健康や介護、悩みごとについての生活相談（3000円～/回）、年金やパソコントラブルなどの専門的な相談、掃除や庭の草むしり、買い物や送迎を行う「みたか便利屋ネット」などの活動を行っている。

アクティブシニアに働く場を提供するとともに、シニアたちの生きがいとなるコミュニティづくりに取り組んでいる。事業の開発・開拓の検討をしながら、同様の悩みを持つシニアを会員として募集。現在は「みたか便利屋ネット」のほか「三鷹成年後見プロジェクト」「マンション管理プロジェクト」のふたつのプロジェクトを立ち上げ、その役割を必要とする法人や個人、またマンションの管理組合に声をかけ活動を広げている。

■立ち上げの経緯

2010年、シニアパワーをもとにシニアに適した事業を開発・開拓し、その事業をシニアに提供しようという目的のもと、任意団体として「日本シニアジョブクラブ」を設立した。

■活動のポイント

シニアの新たな就業を支援。宅地建物取引主任者などの資格や、空調の清掃、リフォーム、大工仕事などに関する知識・技術を持ったシニアが、専門的な業務から日常的な生活支援業務に至るまでの幅広いサービスを提供している。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり		事業性

No.6 世田谷地域デビューの会

運営主体：任意団体

活動地域：東京都世田谷区

U R L：<http://setagayadebut.blogspot.jp/>

活動概要：定年退職したシニアなどを対象に“地域デビュー”を支援している。

■目的・狙い

リタイアした人が“地域デビュー”を果たして地域社会に参画することを後押しするために、地域の人々をつなぐことを目的に活動している。

■事業内容

対象は地域のシニア。それぞれの地域で活動する会員を介して仲間の輪を広げる会員同士のハブの役割を担っている。毎月1回行われる定例会では、各々が関わっている団体（環境問題、消費生活、ウォーキング、パソコン、ミニデイボランティア、男の料理教室）の紹介をするなど、ネットワークを広げ相互の連携も強めている。

会員から「この指とまれ」方式で提案された分科会（体験案内のコンシェルジュ、歩く会、ビジネスなどの勉強会）を立ち上げて実施。また講習会（認知症サポーター養成講座、裁判員制度や高齢者問題に関する講習など）を開催して、会員以外の人たちの参加も募っている。こうした講習会を通じて「まちのたまり場」「情報交換の場」「仲間づくりの場」「実践研修の場」をつくる支援をし、その後、参加者を地域へ送り出している。

■立ち上げの経緯

2006年に世田谷区が行った『地域デビューワークショップ』に参加し、“地域デビュー”について学んだメンバーが意気投合して、任意団体「世田谷地域デビューの会」を結成した。

■活動のポイント

それぞれの団体に活躍するシニア会員がハブとなり、会員だけでなく地域に居住するシニアの地域デビュー（第二の人生）を後押ししている。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり		事業性

No.7 きよぴー&とまと

運営主体：任意団体

活動地域：東京都八王子市

U R L：<http://www15.plala.or.jp/kiyopi-/>

活動概要：地域のシニアが中心となって行う惣菜の販売、配食サービス、サロン運営を通じて地域貢献と生きがいをづくりにつなげている。

■目的・狙い

高齢者が居住する地域の状況に応じて、地域住民の手で地域の活性化を図り、小さなことをみんなで支える活動を始めるためのボランティア団体。

■事業内容

地域のシニア世代の主婦が中心となって、八王子市清川町の街中にある店舗を拠点に、折り紙教室や作品展示、世代間交流イベントなどの様々な活動と、手づくり惣菜の販売や配食サービスを行っている。また隣の空き店舗を利用して「きよぴー&とまと」のメンバーと地域の有志とで、「You&I」というサロンスペースを立ち上げて地域交流の場とするなど、ソフト面から地域を支える活動にも取り組んでいる。

その他、月1回朝市を開催し、周辺農家の新鮮な作物や手づくりのお菓子などを販売している。また、年5回、地域の子どもたちを集めて川遊びや手づくりの凧揚げ、芋掘りに出かけるなどの世代間交流活動も行っている。近年では、会員男性6人で「お助け隊」というチームを結成し、一人暮らしのお年寄りの家を訪問し、包丁研ぎやまな板削り、庭の草むしりや電球の取り替えといった手伝い活動をしている。

■立ち上げの経緯

1996年、市内で6店舗の弁当屋を経営していた副代表が、ボランティアで配食サービスを行う「オレンジの会」を立ち上げた。その後「とまと」と名称を変え、2006年には世代間交流を目的とするボランティアグループ「清川ハッピーステーション」と合併。同年3月に、地域の空き店舗を借りて「きよぴー&とまと」を設立した。

■活動のポイント

配食サービスがなかった時代（1996年）から、ボランティアで高齢者宅へお弁当を宅配するサービスを開始。現在は、地域のシニア世代の主婦が中心となって手づくり惣菜の販売やお弁当の宅配を行っている。さらに、ソフト面から地域を支えるために拠点隣の空き店舗にサロンスペースを立ち上げるなど、地域交流の場としての活動も広げている。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり		事業性

No.8 くらし協同館なかよし

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：茨城県ひたちなか市

U R L：<http://www.npo-nakayoshi.org/>

活動概要：人口減少・高齢化が進むエリアで地元の主婦が立ち上がり、地域の生活を支える食品館と気軽に立ち寄れる「たまり場」を運営。

■目的・狙い

高齢化が進む地域において、地域の活性化を目指し、地域産業の支援や生産者と市民との交流行事を通じ、みんなが生きがいを持って元気に暮らせるまちづくりを目指している。

■事業内容

地域住民の要望を受け、高齢化が進む地域において「食・ふれあい・支え合い・生きがい」をテーマに、総菜などの販売・配達・食事ができる場、みんなが気軽に集まれる喫茶サロンを運営。併せて①高齢者を対象にした健康体操やリハビリ体操、②食生活に関するアドバイス、③地域の人材資源を活用した趣味講座（生きがいづくりの場）、④季節行事や全世代が集まれる催事などを開催している。その他にも子育て支援・家事支援など生活に密着した活動を行うとともに、地域の活性化を目指して地域産業の支援や、生産者と市民との交流行事にも力を入れている。

■立ち上げの経緯

高齢化が進み、街の中心にあった生協も閉店してしまったニュータウンで、地域の食を支え生活の不安を払拭するために、地域の主婦が集まり 2005 年に特定非営利活動法人を設立。同年、閉店した生協店舗跡で生協の支援を受けて、くらし協同館なかよしをオープン。

開店当初は、無名の特定非営利活動法人が運営することへの警戒感や抵抗感があり、なかなか客足が伸びなかったが、伝統行事に関するイベントを開催し活動を知ってもらうことで地域の信頼を得ることができ、今では地域になくてはならない存在となっている。

■活動のポイント

高齢化・人口減少に伴い閉店してしまった「買い物」の場。近場で食料品を購入できないことは高齢者の死活問題に関わることから、仕入れや販売などまったく経験のない地元主婦たちが知恵を出し合い創意工夫で活動の幅を広げている。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.9 湘南ふじさわシニアネット

運営主体：認定特定非営利活動法人

活動地域：神奈川県藤沢市

U R L：<http://www.sfs-net.com/>

活動概要：企業などで多くの経験や実績を積んだシニアが集まり、ITを始めとしたビジネスサポートを提供する。神奈川県の認定NPO法人。

■目的・狙い

シニアを対象に、地域社会における自己実現や個人の能力の社会還元をサポートする。情報技術を利用したコミュニケーションの場や学習教育環境といったプラットフォームを提供するとともに、特にシニアの市民活動を支援し、人間性豊かな生活を営むことのできる社会の創造に寄与することを目的としている。

■事業内容

対象はリタイアしたシニア世代。シニアに「居場所」を提供し、社会と関わる機会（出番）をつくるため、企業や組織をリタイアしたシニアの力を活用。具体的には経営、経理、情報通信など各分野においてそれぞれが培ってきた知識・技術・経験を生かして、個人事業主・商店主・中小企業経営者に対するビジネスサポート、ホームページの作成などのサービスを提供している。その他、シニア・主婦・子どもを対象にしたパソコン出前授業、ビーチクリーン、湘南マラソンへのボランティア派遣など社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

「働く・学ぶ・楽しむ」をモットーに、勉強会や、サイクリング、コーラス、ゴルフなどの同好会活動を通じてシニアの生きがいづくりを行っている。

■立ち上げの経緯

企業などで多くの経験・実績を積んだシニアが集まり、高齢化社会に向けてシニアが活力と生きがいを得ることを目指して、2003年に任意団体「湘南ふじさわシニアネット」を発足させた。2004年に特定非営利活動法人化。創立10周年にあたる2013年6月には、藤沢市初の認定特定非営利活動法人として神奈川県から認定を受ける。

■活動のポイント

リタイアしたシニアを対象に、知識や技術を活かした新たな活躍の場づくり、「働く・学ぶ・楽しむ」ことを通じた高齢者の生きがいづくりへの取り組みを、湘南地域を中心に推進している。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.10 南光だ^{きらら}雲母倶楽部

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：宮城県仙台市泉区

U R L：<http://www.koujinou.jp/kiraraclub.html>

活動概要：高次脳機能障がい者を対象として、段階別のリハビリテーション施設を展開。社会とつながりを持つためのきっかけの場を提供している。

■目的・狙い

高次脳機能障がい者が地域で自立した生活を営むための手段である「就労」をサポート。「職業」という認識と、社会人（職業人）としての基本的なルールを身に付けてもらうための職業訓練の場として設立された。

■事業内容

高次脳機能障がいの回復段階に合わせたサポートを行っている特定非営利法人雲母倶楽部は、仙台市内で作業所を運営するほか、介護保険事業としてデイサービスや居宅介護支援事業を実施している。「南光だ雲母倶楽部」が提供するデイサービス事業は、高次脳機能障がいのリハビリテーションの最終段階としての機能と、就労の場という二つの側面を併せ持っている。就労に対して意欲を持ち、他者と穏やかな関係を築くことのできるメンバーが通所し、高齢者へのサービス提供を行っている。

「雲母倶楽部」が就労の場としての機能を備えたことで、メンバーは収入を得ることができるようになり、「もっと利用者が増えるためには、サービスの質を向上させることが大切だ」といった意欲的な発言も聞かれるようになってきている。

■立ち上げの経緯

2004年9月から介護保険事業所として高齢者のデイサービス事業を開始した。

■活動のポイント

高次脳機能障がいのリハビリテーションと就労支援を兼ねて、高齢者のデイサービスを行う複合型の施設である。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.11 シニア人財倶楽部

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：福島県いわき市

U R L：<http://npo-s-jinzai.jp/>

活動概要：都市部に住むシニアが経験や技術・技能を活かし、中山間地域の遊休農地の再生利用や高齢者の買い物支援などを通じて地域活性化に貢献。

■目的・狙い

シニア世代の会員自身の健康と生きがい、ならびに地域社会の多くの人たちがともに健康で元気にいきいきと暮らせる明るい社会づくりに寄与することを目的としている。

■事業内容

いわき市の都市部に住むシニア世代を中心に設立。耕作放棄地を活用して米や野菜を栽培し、収穫した農作物は、「三和町なごみハウス」にある惣菜加工場「おばちゃん厨房」「御食事処なごみハウス」、ソバ打ち教室や料理教室で使用するなど、6次化産業にも力を入れている。また、農作物や惣菜は移動販売車で都市部の高齢者のもとにも届けられ、都市部の団地に暮らす買い物弱者の解消にもつながっている。

そのほか「被災地いわきの子どもの笑顔のために！」を合言葉に、図書の寄贈、絵本の読み聞かせ、オリジナル絵本の制作・配布を始め、シニア向けパソコン講座や乗馬体験バスツアーの企画・実施なども行っている。

■立ち上げの経緯

2008年に、都市部のシニアの力を活用して遊休農地の解消と三和町の活性化を図ることを目的に、農業の担い手不足に悩む町内の中山間地域で農業生産の支援をスタート。同時に、都市部の団地に暮らす「買い物難民」を対象に、主に三和町で生産された米・野菜などを販売する定期朝市の取組みも開始している。

2010年には、特定非営利活動法人として県で初めて農地法第3条に基づく農地賃借が認められ、農業生産を開始。さらに、車両を導入して買い物難民向けの「移動販売」も開始した。

■活動のポイント

都市部在住シニアを中心とする会員の経験や技術・技能を活かし、中山間地域の遊休農地の再生利用、都市部団地の高齢者（買い物難民）や東日本大震災被災者の仮設住宅への移動販売などを通して地域貢献を行っている。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり		事業性

No.12 ユーアイネット柏原

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：埼玉県狭山市

U R L：<http://www.sayama-ui.net/>

活動概要：サービス提供会員も、利用会員も同じ柏原地域の住民。地域住民同士が支え合いながら生活する有償福祉サービス組織として地域に根付いた活動を行っている。

■目的・狙い

地域住民の生きがいと雇用の創出、ならびに地域商店と街の活性化を促進して「住民のみんなが、希望と自信と誇りを持って、安心して暮らせるまち」を創造することにより、公益の増進に寄与することを目的としている。

■事業内容

埼玉県狭山市柏原にある、地域住民同士が支え合いながら生活する有償福祉サービス組織。サービス提供会員も利用会員も同じ柏原地域の住民であり、お互いに助け合い安心して楽しく暮らせるまちづくりを目標に活動している。

事業の柱は二つ。一つは狭山市柏原地区に暮らす、日常生活に支障をきたす高齢者・障がい者や子育て中の家庭に対して、買い物支援や家事支援、水まわりの修理や庭木の手入れ、ベビーシッターなどのサービスを提供することで住民が抱える様々な問題や課題に対応する「生活支援事業」。もう一つは、地域住民の憩いの場としてのカフェの開設、ならびに趣味や教養・社会貢献活動などの諸行事を主催して心豊かで文化的な生活を追求する「コミュニティサロン事業」である。「生活支援事業」の利用料金は60分1,000円で、このうち700円は地域商品券の形でサービス提供者に支払われる。

その他、手芸、生け花、健康に関するサークルや、乳幼児と保護者を対象にした子育て広場なども定期的に開催している。

■立ち上げの経緯

地域住民の生きがいと雇用の創出、地域商店と街の活性化を目指し、2012年に特定非営利活動法人を設立した。

■活動のポイント

地域住民同士が支え合いながら生活する仕組みづくりが特徴。生活支援事業だけでなく、高齢者の子育て支援活動への参加や文化活動なども積極的に推進している。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.13 よろず相談コミュニティカフェ

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：群馬県太田市

U R L：<http://www.yonosuke.or.jp/>

<https://www.pref.gunma.jp/02/d2300279.html>

活動概要：自分たちで立ち上げたコミュニティカフェの一角で、地元のために専門知識を活かし、よろず相談を受ける。

■目的・狙い

仕事を通じて培ってきた専門的な知識や技術を地域のために役立てることで、安心・安全なまちづくりを目指す。暮らしの中で起こる様々な問題や困りごとについて、気兼ねなく相談できる場所を提供する。

■事業内容

群馬県太田市にあるコミュニティカフェ。よろず相談として週2回、無料で相談を受けている。地域の誰もが気軽に何でも話せるように配慮し、余之助茶屋（カフェ）の一角で、かしこまらずに相談できる場を設けている。相談に対しては、建築・不動産・保険・法律・会計など多種多様な業務に携わってきたメンバーが、専門家の立場から解決法を提示する。さらに他の特定非営利活動法人や企業とも連携して情報交換を行い、よろず相談に来られない人への訪問対応も行っている。

余之助茶屋は、ランチとこだわりのコーヒーを提供するカフェであり、その収益は活動資金の一部に充てられている。また、歌声喫茶や、フォークソングを演奏するフォーク喫茶などのイベントも開催しており、シニア世代を中心に歌好きな人が集まり、活気あふれる場となっている。

■立ち上げの経緯

町の活気が失われつつあり人と人との交流が少なくなる中で、地元にも「大人のたまり場」をつくりたいと考え、2002年に太田市の高校時代の同級生が集まり特定非営利活動法人として立ち上げた。

■活動のポイント

男性シニアが中心となり「大人のたまり場」を運営。多種多様な業務に携わってきたメンバーが集まり専門家の立場から解決法を提示し、地域の困りごとを解決している。

○	社会参加	○	地域性
	まちづくり		事業性

No.14 アクティブファーム・せと

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：愛知県瀬戸市

U R L：<http://active-sns.sakura.ne.jp/index.html>

活動概要：農業を中心に仲間づくり、社会貢献活動、健康づくりを行い、シニアの自立、生きがいづくりを促進。

■目的・狙い

元気な中高年（アクティブシニア）の「仲間づくりや活動の場作りづくり」を通して、高齢者の自立や地域生活の向上に貢献する。

■事業内容

地域に在住する中高年が対象。遊休農地を利用した「アクティブファームせと」では、採れた野菜を独自ブランド「シニアのこだわり 楽農園の新鮮野菜」として、農産物直売所や商店街、地域のイベントなどで販売・提供している。「アクティブファームせと」では、特別支援学校やデイサービスを行う特定非営利活動法人を招いて農作業、収穫イベントを行うほか、瀬戸市適応指導教室の課外活動の場としても利用されている。

その他の活動としてオトパセミナーや、農園で栽培している旬の野菜を使用した「男の料理」、健康ウォーキング、行政・市民団体・商店街・福祉団体・モアスクール放課後学級などからの依頼による「木工細工体験会」「なつかしの映画鑑賞会」なども行っている。

■立ち上げの経緯

アクティブシニアの地域参加を支援・促進し、社会貢献活動などを通して中高年の居場所づくり・生きがいづくりを行うために、2006年に任意団体として設立。翌年の2007年には「特定非営利活動法人アクティブシニアネットせと」を設立。同年、野菜作りの会「アクティブファームせと」をスタートさせた。

■活動のポイント

シニアの生きがいづくりセミナーに参加した男性シニアが中心となり団体を立ち上げた。参加者の多くが男性であり、男性シニアの居場所・生きがいづくりの場となっている。

○	社会参加	○	地域性
	まちづくり		事業性

No.15 暮らしの保健室

運営主体：特定非営利活動法人・株式会社

活動地域：東京都新宿区

U R L：<http://www.cares-hakujuji.com/services/kurashi>

活動概要：加齢とともに生じてくる高齢者の生活上の問題や心身の変化にいち早く気づき、対応。高齢者の暮らしを支える活動を行っている。

■目的・狙い

医療や暮らしに関する様々な悩みに対して、地域の医療・介護状況を熟知した相談員が無料で支援することを目的に、「暮らしの保健室」を開設。この「暮らしの保健室」は、様々な相談を適切な窓口へとつなぐ医療コーディネーターとしての役割を持つことにより、生活者の様々な悩みの解決を促すことを目指している。

■事業内容

対象は全世代。「病院に行くほどでもないけれどちょっと気になる」「がんの家族や友人にどう接すればいいのかわからない」といった、従来の医療や介護の枠では受け止めきれない生活者の様々な悩みに関する相談を、ワンストップ窓口として受け付けて対応する。住み慣れた自宅で利用者が生活を続けられるように、受け付けた相談を複数の適切な窓口へとつなぐ医療コーディネーターとしての視点を持って支援を行っている。

■立ち上げの経緯

都心の都営住宅戸山ハイツの高齢者化率は約 50%で、全国的に見ても突出している。地域の訪問介護の長年の経験を通して代表者が気づいた高齢者の日常の困りごとを解決しながら、安全で安心して暮らせるための地域づくりを目指し、「暮らしの保健室」を開設した。

■活動のポイント

ちょっと具合が悪いときや悩み・心配ごとがあるとき、あるいは何もなくても誰かと話したいときなどに、学校の保健室のように、気軽に立ち寄れる場として地域住民の暮らしをサポートするために開設された。イギリスにあるがん専門の相談支援機関マギーズ・センターを手本にしており、自然の素材をふんだんに使った明るい室内は、緊張感のないリラックスした雰囲気となっている。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.16 チャンプルーの会

運営主体：特定非営利活動法人

活動地域：東京都立川市

U R L：<http://members.jcom.home.ne.jp/npo-sarah/>

活動概要：特定非営利活動法人「高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」が展開するレストラン、交流拠点の「ひろば」、デイサービス・ケアプラン事業。

■目的・狙い

地域に暮らす人たちが、自分たちのまちを自分たちの手で“豊か”にするための拠点をもち、持ちつ持たれつの関係のもと互いに助け合いながら暮らしていくことができるまちづくりに取り組んでいる。

■事業内容

対象は全世代。地域での支え合いを理念として掲げて下記の事業を展開する中で、生きがいや就労の場も提供している。

- 地産の野菜を使用したメニューを提供する「レストランサラ」の運営
- 「レストランサラ」における弁当の宅配
- 地域の交流の場「ひろばサラ」の運営
- デイサービス、ケアプランの作成
- レストランで提供する野菜を栽培する農園事業の展開

■立ち上げの経緯

住み慣れた地域で継続して暮らしていく上では「健康と生きがい（づくり）と互助」が重要だと考え、自分たちの老後の居場所づくりとしてレストランを開業。開業資金の不足分は出資を募って事業をスタートさせた。翌年、特定非営利活動法人として法人格を取得して、立川市の「商店街空き店舗活用推進事業」の助成金を活用し交流ひろばを開設。以降、外出困難者を対象にした弁当の宅配サービスも展開する。非営利事業を支えるため、営利事業としてデイサービスやケアプラン作成などの事業を実施し、事業の幅を広げている。

■活動のポイント

非営利と営利の両輪で事業を展開することで、行政の支援だけではカバーしきれない地域課題の解決を図るモデルを確立している。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり	○	事業性

NO. 17 シェア金沢

運営主体：社会福祉法人

活動地域：石川県金沢市

U R L：<http://share-kanazawa.com/>

活動概要：佛子園は石川県を中心に高齢者や障がい者の福祉施設を運営している社会福祉法人。飲食店やクリーニング店などの商業施設と連携した独自の複合型福祉施設を展開している。

■目的・狙い

かつてあった“良き地域コミュニティ”の再生を目指し、高齢者、若者、障がいのある人などの分け隔てなく、誰もがお互いに支え合うまちづくりを行う。

■事業内容

対象は全世代。

- 街（シェア金沢）には佛子園の事業拠点として、サービス付き高齢者向け住宅、学生向け住宅、児童入所施設、児童発達支援センター、高齢者デイサービス事業所が存立している。
- シェア金沢の理念に賛同する地域の事業者（パートナー）が、街の中でクリーニング店、カフェ、子育て支援事業所などの店舗営業をして、街の住民のアクティブライフを支えている。
- エリア内にある温泉施設は街の住人、街の施設利用者、一般客など誰もが利用し、地域交流の場としても機能している。

■立ち上げの経緯

佛子園の福祉施設は、「支え合いともに暮らすまちづくり」を理念に運営している。長年の施設運営から、色々な人が集まる「ごちゃ混ぜ」のまちづくりこそが、地域が持続的に元気でいられる仕組みであると認識し、地域に開かれた複合型福祉施設づくりを実現した。

■活動のポイント

シェア金沢は縦型福祉からの脱却を推進している。

「私がつくる街」がコンセプトであり、全ての住民が役割を持ってまちづくりと運営に参加する。

サービス付き高齢者向け住宅に入居の就労希望のアクティブシニアは、街の施設（天然温泉やレストランなど）で楽しく仕事をすることができる。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.18 ゴジカラ村

運営主体：社会福祉法人（母体）・特定非営利活動法人・株式会社

活動地域：愛知県長久手市

URL：<http://gojikaramura.jp/>

活動概要：「社会福祉法人 愛知たいようの杜」を母体として、その都度必要な法人を立ち上げ事業活動をしている。

■目的・狙い

失われていく雑木林の保全と地域のつながりの再生を推進しながら、多様な世代が暮らす自然村を具現化する。未完成（な状態）を大切に、時間に追われないおおらかな暮らしの実現を目指している。

■事業内容

対象は全世代。

●社会福祉法人愛知たいようの杜

介護老人福祉施設、ショートステイ、在宅介護支援センター、ケアハウス、デイサービスセンター、グループホームの運営

●特定非営利活動法人 法人ほどほど横丁

共同生活「ぼちぼち長屋」の運営

●学校法人吉田学園

愛知たいよう幼稚園、自然幼稚園「もりのようちえん」、介護福祉士養成学院（介護・看護・保健学科）の運営

■立ち上げの経緯

雑木林の保全・再生による地域の魅力づくりを目指し、1981年に「愛知たいようの杜幼稚園」を設立。その後、時間に追われないおおらかな暮らしの実現を目指し「ゴジカラ村」という名称で、特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設や専門学校、託児所を次々と開設した。

共同生活の場をつくるための特定非営利活動法人や、行政サービスを代行するためのゴジカラ村役場株式会社など、必要に応じて法人を立ち上げながら、地域コミュニティのエコ村づくりを推進している。

■活動のポイント

子どもから高齢者まで、あらゆる世代の人に役割と居場所がある多世代交流型の地域コミュニティ開発モデル。ゴジカラ村は、場所のほかは何も提供せず、必要なものは全て自分たちで作りだす空間である。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.19 麦の郷、和歌山高齢者生活協同組合

運営主体：社会福祉法人・民間団体・行政協働

活動地域：和歌山県和歌山市

U R L：<http://muginosato.jp/index.html> <http://hajime-cafe.jimdo.com/>
<http://www.s-co-op.or.jp>

活動概要：【麦の郷】身体・知的・精神障がい者、障害乳幼児、不登校児、高齢者等を対象に、生活支援・就労支援を行っている。

【和歌山高齢者生活協同組合】

高齢者の暮らしと尊厳を守り、いきがい就労の支援を行い学びの心を育てる取組みを行っている。

■目的・狙い

就労移行支援、グループホーム、ケアホームの基盤は不足しており、今後整備が必要となっている。また障害のある児童のサービスについては、居宅介護事業所は増えているが、短期入所事業所は少なく、医療的支援の必要な児童についても、医療機関などへ事業の実施を働きかける必要があるという地域の課題に対応した活動を行う。

障害者のみならず、高齢者の地域で「困りごと」を抱えて暮らしている人たちのニーズに応え、住民の、自身が生まれ育った地域で健康に生き老いたいという願いを実現する目的で「たつの共同作業所」としてスタート。

■事業内容

対象は全世代。

●麦の郷

身体・知的・精神障がい者、障害乳幼児、不登校児、高齢者等を対象として、「生活保障」「発達保障」「労働保障」の三本の柱でさまざまな活動をおこなう社会福祉法人として、生活支援・就労支援を行っている。地域との交流の場として、地域活動センター「むぎわらぼうし」、古民家「山崎邸」カフェ「創～hajime～café」などを運営。

●和歌山高齢者生活協同組合

「介護」住み慣れたまちで、安心して暮らし続けたい。「生きがい」ひとりぼっちの高齢者をなくそう。元気な高齢者がもっと元気に。「暮らし応援」高齢者の暮らしと尊厳を守り、いきがい就労の支援を行い学びの心を育てよう。

■立ち上げの経緯

身体・知的障がい者に対して、就労の場所と機会を提供するために共同作業所を設立。当時はまだ、精神障がい者グループホームなどの制度はなかったが、行政が動く前に住民から運動を起す形で事業を展開している。

精神保健法ができたのをきっかけに、精神障がい者通所授産施設と生活訓練施設を開設。また、障がい者の自立を目指すクリーニング工場を一般事業として立ち上げ、それをもとに日本初の精神障がい者福祉工場を開所した。近年は不登校児問題にも取組み、ひきこもり青少年支援共同作業所も発足させている。

■活動のポイント

地域の一員として生きる力を身につける支援を通じて、地域の社会的課題の解決を図る。自分で選択することのできる、様々な段階に応じた支援を通じて、障がいの有無にかかわらず地域で当たり前前に生活することができるよう目指している。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.20 C・ネットサービス（就労継続支援 A 型）

運営主体：有限会社

活動地域：福井県福井市

U R L：<http://www.c-net.or.jp/index.html>

活動概要：有限会社 C・ネットサービスは、社会福祉法人コミュニティーネットワークふくいグループ企業。グループとして、障がい者の自立支援事業に取り組んでいる。

■目的・狙い

障がい者の仕事と暮らしの支援を通じて、地域社会における共生の実現を目指す。多様化する障がい者の「暮らしの支援ニーズ」に応えるため、その支援強化に取り組むとともに、誰もが地域の中で「安心して暮らせる、心豊かな福祉社会」の構築を推進する。

■事業内容

対象は障がい者。有限会社の就労継続支援 A 型事業として、白衣クリーニングや容器洗浄リサイクルの事業を展開。その事業所で一生働き続けるのではなく、スキルを習得した就労者を社会（一般企業）へと送り出すモデルとなっている。国や民間団体プロジェクトの実証事業を行いながら、地方創生も視野に入れたより実質的な課題解決の道を検証している。そのほか、生活介護活動事業や計画相談支援事業を行っている。

グループ関係法人である特定非営利活動法人ピアファームでは、地域の人たちとの協働による良質で安心安全な商品（梨・ブドウ・野菜）づくりを通じて、障がい者の自立支援を進めている。

■立ち上げの経緯

障がい者が自立した生活を送れる社会をつくり、地域課題を解決していくために有限会社を設立。障がい者には就労しながら社会に認められるスキルを習得してもらい、将来的には「商助」を通じた支え合いにより、地域で元気に働いてもらう仕組みづくりの強化に取り組む。

■活動のポイント

昔ながらの「互助」の精神に基づいて障がい者の自立支援に取り組んでいる。就労者にスキルを身につけてもらい、その後、社会（一般企業）に送り出していくことを目指した事業モデルである。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.21 創心會

運営主体：株式会社

活動地域：岡山県倉敷市

U R L：<http://www.soushinkai.com/home/>

活動概要：医療・介護・福祉の分野において様々な事業を行う。自社グループや関連団体の資源を組み合わせ、総合的なケアシステムを構築。

■目的・狙い

予防から終末期までのケアを住み慣れた地域の中で完結させるために、包括的ケアシステムの構築・提供・発信・普及を通じて「ケア革命」を起こすことを目標に総合的な事業を展開する。

■事業内容

岡山県の各市（岡山市、倉敷市、笠岡市、瀬戸内市）、ならびに広島県福山市や香川県高松市において、医療・介護・福祉分野における様々な事業を展開。具体的には居宅介護支援事業、訪問看護事業、訪問介護事業、福祉用具貸与事業、介護リフォーム事業、デイサービス事業、さらにはグループホーム、住宅型有料老人ホーム、鍼灸接骨院、保育所などの運営も行っている。また、関連団体である特定非営利活動法人「未来想造舎和一久（わーく）」では、中途障がいの方々への社会参加の出口戦略として、「役割や社会的居場所の提供による主体的生活のための社会資源」をコンセプトに就労継続支援 A 型と B 型の事業に取り組んでいる。

加えて農業の再生と、農業と福祉との連携・融合を目指して新たな産業へと成長させていくことを目標に、合同会社「ど根性ファーム」で農業生産法人も運営。「ど根性ファーム」を活用し、農業をキーワードにした、子どもと高齢者の多世代交流を進めるとともに、こうした資源を組み合わせることで高齢者や障がい者への複合的な支援を行っている。

■立ち上げの経緯

1996年に創心会在宅ケアサービスを開業し、翌年、有限会社創心会在宅ケアサービスを設立した。そして2000年に株式会社創心會に組織変更。以降も、住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりに向けて、生活に視点を置くりハビリテーション理論を介護領域に浸透させ、融合を図っていくことを目指し事業を展開している。

■活動のポイント

1996年の開業以降、精力的に事業を拡大。自社グループで高齢者や障がい者に対する包括的ケアシステムを構築している。

○	社会参加	○	地域性
	まちづくり	○	事業性

No.22 幸せ手伝い隊

運営主体：商店会協同組合

活動地域：埼玉県幸手市

U R L：

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0302/sasaeai/documents/461889_1.pdf

活動概要：元気高齢者による住民支援のボランティア謝礼を地域商品券で受け取る仕組みを構築し、高齢者の生きがいがづくりと商店会の活性化を両立させる。

■目的・狙い

公的支援ではカバーしきれない高齢者の介護ニーズと地域のアクティブシニアの生きがい就労（有償ボランティア）をマッチングすることで地域の互助の仕組みづくりを行うことを目的としている。

■事業内容

日常生活の困りごとの解決を、元気な高齢者などが手伝い、その謝礼として商店会などの加盟店で使用できる地域商品券を渡す仕組みとなっている。対象となるのは、介護保険などでは対応することのできない日常的な手伝い。介護予防と就労機会の創出につながるだけでなく、地域商品券を発行することで地域の商店の活性化にも寄与している。

具体的な内容としては買物代行、話し相手、外出付添、ゴミの分別、洗濯、部屋・窓ガラス掃除、縫い物、電球・電池交換など、援助が必要な高齢者のちょっとした用事を、元気な高齢者のサポーター（有償ボランティア）がサポートする。サポートを受ける側は事前に利用料分のチケットを事務局から購入。ボランティアはサポートの対価としてチケットを入手したら、事務局で商品券に交換できる仕組みとなっている。350円のチケットの場合、250円の商品券に交換され、差額の100円はボランティア保険と地域支え合いの事務費として活用されている。

■立ち上げの経緯

高齢者の介護予防と生きがいがづくり、そして地域活性化のために幸手団地内の商店街が主体となり、2011年9月にスタートした。

■活動のポイント

介護保険外で行われる、地域のシニアによる生活支援サービス。シニアに対して働く場所を提供するだけでなく、地域商品券の発行を通じて地域商店の活性化にも貢献する。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.23 プチモンドさくら

運営主体：株式会社

活動地域：千葉県佐倉市

U R L：<http://www.petitmonde.jp/index.html>

活動概要：「自立と共生」の理念の下、お互いに助け合いながら共生する現代版の長屋を目指した、働けるサービス付き高齢者賃貸住宅を運営している。

■目的・狙い

「自立と共生」をベースとして高齢者になっても「仕事」や「役割」を持って社会と関わることが健康寿命の維持につながるとの考えのもと、仲間と働きながら互いに助け合うことで生きがい創出する、新しいコミュニティづくりを目指している。

■事業内容

対象は入居者。お互いに助け合いながら共生する現代版の長屋を目指した共同住宅で、施設内の様々な業務の中から、入居者の希望とできる範囲に応じて仕事を選択することができる仕組みとなっている。

具体的な仕事としては、緊急用の電話を持ち何かあったら駆けつける宿直業務補助の他、入居者のための食事づくり、剪定、共用部の清掃、郵便の取次ぎ、ごみ出し、建物の門の開閉、見守り、介護・家事手伝いなど様々な業務が用意されている。就労形態も非常に柔軟で、定期的な決められた仕事をするスタイルでも、できる時にできることだけを手伝うスタイルでも構わない。報酬はパートスタッフの待遇とほぼ同じとなっている。

さらに、施設にはカフェやクリニックモールが併設されており、地域にも広く開かれている。また敷地内では山羊を8頭飼っており、近所の小学校から子どもたちが遊びに来ることもしばしば。入居者間だけでなく、外部の人たちともカフェや山羊を通してふれあうことができ、地域のコミュニティづくりにも貢献している。

■立ち上げの経緯

代表がヘルパーの現地訓練で訪れた施設では、食事や入浴の介護が流れ作業のように行われていた。人間の尊厳がない収容所のような現状にショックを受け、自分や自分の親が安心して住める理想的な終の棲家をつくろうと2013年に設立した。

■活動のポイント

施設内の様々な業務の中から、入居者が自分のできる範囲で仕事を選択することができるサービス付き高齢者賃貸住宅。サービスを受けるだけでなく、仕事や役割を通じて社会との接点を持ち続けることで生きがいを創出し、健康寿命の延伸を図っている。

○	社会参加		地域性
	まちづくり	○	事業性

No.24 シニアワークセンターとよなか

運営主体：株式会社

活動地域：大阪府豊中市

U R L：<http://seniorwork.startupbiz.jp/>

活動概要：生きがい就業を希望するシニアを対象に、講習会・実習の場・就業の場をセットで提供。

■目的・狙い

シニア世代が就業可能な有望分野を発掘し、その中でシニア世代が生きがいを感じながら働くことのできる事業を創り出すこと、およびその分野での人材育成を行うことを目的としている。

■事業内容

豊中市から事業の委託を受け、主に定年後のシニアの就業を支援・促進する場として設立。講師育成を目的とした講座開催、就業の場の提供、さらにはマンション管理事業、農業、園芸事業、塾講師養成、設備・電気工事などを行っている。こうした事業のひとつに、中高年を対象にしたタブレット講座がある。初心者・入門者向けの講習会だが、講師はその講習会を受講して操作をマスターした人が務めるなど、スキルアップだけでなくキャリアアップにもつながる仕組みとなっている。

また、箕面市から借りた農地で農業の実習も行っており、受講生が収穫した農作物については販売もしている。受講生らを中心に、飲食店に買ってもらうための働きかけも行っている。この他、園芸の講座やマンションの管理員の資格を取るための講座、起業セミナーなども開催している。

■立ち上げの経緯

定年後のシニアの就業を支援する場として、2013年5月に設立した。

■活動のポイント

就業を目指すシニアのために教育の場、実習の場、活躍の場を一貫して提供している。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.25 みま～も 事務局：大田区地域包括支援センター入新井

運営主体：任意団体・事務局（地域包括支援センター）

活動地域：東京都大田区

U R L：http://mima-mo.net

活動概要：地域住民と地域で働く医療・保健・福祉専門職がつながり合い、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

■目的・狙い

「高齢化の一途をたどる大都市東京において、高齢者が住み慣れた地域で安心・安全な生活を継続する」という課題解決に向けて、地域のあらゆる社会資源と協働した都市型の見守りネットワークを構築する。

■事業内容

対象は高齢者。

地域の全ての人たちによる「見守り支え合いのネットワーク」と、医療・福祉・介護専門職による「支援のネットワーク」の有効的な連携により、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりに取組んでいる。

①高齢者見守りキーホルダー事業

✓ 2009年に区内一部地域で開始した「SOSみま～もキーホルダー登録システム」は、2012年より、大田区の高齢者施策へ発展。おおた高齢者見守りネットワークは、このキーホルダー事業の普及・啓発活動を継続している。

②「みま～もステーション」と「みま～もサポーター」事業

✓ 講座の開催や公園の花壇管理や清掃など高齢者の活動の場と機会の提供する拠点「みま～もステーション」を、その活動の応援団「みま～もサポーター」の参画により展開している。

■立ち上げの経緯

2008年4月に12名の福祉専門職と地域の老舗百貨店「ダイシン百貨店」の社員3名で、現在の前身である「大田北高齢者見守りネットワークをつくる会」を発足。2009年1月、活動地域の拡大に伴い「おおた高齢者見守りネットワーク（愛称：みま～も）」に改名した。

会の趣旨に賛同した各種団体の賛助会費によって運営される任意団体である。

■活動のポイント

任意団体の活動が区民の要望で大田区の高齢者施策に発展した。地域の様々な社会資源を活用（連携）して都市型見守りの大規模ネットワークを構築している。

○	社会参加	○	地域性
	まちづくり	○	事業性

No.26 いなべ市農業公園

運営主体：いなべ市

活動地域：三重県いなべ市

U R L：<http://www.inabe-nougyoukouen.com/index.html>

活動概要：自治体主導の元気高齢者対策事業。公園管理は一般社団法人サンパークいなべが行っている。

■目的・狙い

高齢者が生きがいを持って生活できるようにする元気高齢者対策を実施。地域農業を守る対策としては、高齢化が著しい県地区において荒廃農地を有効に活用した都市農村交流拠点（農業公園）を整備し、都市と農村との相互理解の促進、高齢者就業機会の確保、農地の新たな活用による特産品の開発、生産者の生きがい発揮による地域の活性化を図る。

■事業内容

対象は全世代（公園運営の生きがい就労の対象は元気高齢者）。農業振興、農村と都市との交流を目指し公園の整備・管理を行う。

公園の造成、梅林などの公園の管理・運営

- パークゴルフ場の管理・運営
- 農業公園内レストラン「フラール」の運営
- レストラン「フラール」で販売するジュースやジャムなどの加工・販売
- 農産物の収穫体験イベントの実施

■立ち上げの経緯

後継者不足による土地の荒廃の歯止めと高齢者の活躍の場づくりを目的として、地域の高齢者による農業公園づくりが始動した。造成は土木・建築関係の仕事の経験者が培ってきた知識とノウハウを活かして手づくりで行った。

■活動のポイント

循環型社会の実現に向けた取組みで、高齢者福祉および活躍の場を創出している。

○	社会参加	○	地域性
○	まちづくり	○	事業性

No.27 長野県川上村

運営主体：川上村

活動地域：長野県南佐久郡

U R L：<http://www.vill.kawakami.nagano.jp/index.html>

活動概要：村長自らが推進役となり、地域資源である高冷地を活かした野菜のブランディングによる地域活性化を実現させた。農林水産省からの補助金と村の財源を組み合わせて取り組んだ地域資本創出の先進的モデル。

■目的・狙い

新しい時代の農業は創意工夫と情報化が鍵となる「知識産業」と捉え、人材育成に注力。村の教育・文化行政に積極的に取組み、村民を「精神的に豊かな人間」に育てることを重点施策としている。「産業が人を育てる」のではなく、「人が産業を育てる」との理念に基づいて村の活性化を図る。

■事業内容

- 町長が先頭に立ち地域資産として寒冷な土地柄を活かした「レタス」「白菜」のブランド化に成功。
世帯年収を飛躍的に伸ばし、地域資本を形成。休耕地ゼロの状態が高齢者が元気に働く。
- 24時間図書館、文化センター、村民福利厚生文化・芸術鑑賞会など「知的産業」の基盤を整備。
人材の育成に注力し、一般的な知識教養だけではなく、まちを知る「郷育」に継続的に取り組んでいる。
- 地域独自の社会保障・福利厚生サービスとして医療費無料、24時間訪問介護体制を構築。
- 保育園併設の子育て支援センター「きらきら」を開設。

■立ち上げの経緯

日本は高度経済成長期を境に、急激に若者の農業離れが進み、今日では多くの農山村が過疎化、高齢化、後継者難などの問題を抱える中、「基盤整備は後でもできるが、人づくりは今やらなければならない」という考えのもと、人材育成からまちづくりをスタートさせた。

■活動のポイント

行政主導で地域資本を創出させてまちづくりの基盤にした先進モデルである。「産業」の創出ではなく、「人」を育てる事で、産業を生み出す新たな視点に立った取り組みである。

○	社会参加		地域性
	まちづくり		事業性

No.28 三鷹いきいきプラス

運営主体：特定非営利活動法人・三鷹市

活動地域：東京都三鷹市

U R L：<http://www.svsoho.com/place/index.html>

活動概要：シニアの仕事や趣味、ボランティア活動への参加をサポートするマッチング事業。

■目的・狙い

高齢者が気楽に、気ままに、楽しく社会活動を送れるように、多様な活動に参加することのできる機会を増やすための様々な支援を目的とする。

■事業内容

三鷹市の事業を特定非営利活動法人シニア SOHO 普及サロン・三鷹が受託し事務局業務を運営している。市の社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、武蔵野三鷹ケーブルテレビ(株)などが運営協議会として参画している。

「三鷹いきいきプラス」は、仕事、趣味、ボランティア活動に関する経験や知恵を持った元気な高齢者と、サポートを必要としている人・グループとを、IT などの活用を通じてきめ細かくマッチングする仕組みとなっている。

現在、2,200 人の会員がおり、日曜大工や庭木の手入れなどのちょっとした手伝いから、楽器・囲碁・将棋の講師や保育園のもちつきボランティアといった仕事の依頼の他、講演会・セミナー・シンポジウムへの参加者募集、趣味のヨガサークルや体操教室の参加者募集など幅広い分野でマッチングを行っている。

■立ち上げの経緯

「元気な高齢者が元気でいつづけるため」の三鷹市の福祉施策で 2001 年 12 月に設立された。

■活動のポイント

自治体主導で行うマッチング事業。仕事だけでなく、趣味やボランティア活動、セミナーなど幅広い分野のマッチングを図っている。

○	社会参加		地域性
○	まちづくり		事業性

No.29 栗東 100 歳大学

運営主体：栗東市

活動地域：滋賀県栗東市

U R L：<http://www.city.ritto.shiga.jp/koho/1603/pdf/r0313.pdf>

活動概要：『第 2 の義務教育』として、充実した今後の人生を考えていくために健康維持や生きがいづくり、死への備えなどを学ぶ連続講座を自治体が展開している。

■目的・狙い

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにする「地域包括ケアシステム」の確立を目指した、全国初の取組みとして栗東市が実施。

■事業内容

受講対象となっているのは、市内在住の 65 歳・66 歳のシニア。今後の人生で、自身の健康づくりや生きがいづくりに取組みながら、社会貢献も期待される世代が対象となっている。カリキュラムは、「健康づくり」「生きがいづくり」「福祉」「地域」「幸せづくり」の 5 科目。週 1 回、全 40 回の講座で、2015 年 10 月スタートの第一期生は 38 人。

100 歳大学の特徴は、講師を務めるのが地域で活躍する人材であること。講義と実技を踏まえ、身近な実例から知識や実践能力の向上を図っている。

■立ち上げの経緯

元・滋賀県知事の國松善次氏が理事長を務める一般社団法人「健康・福祉総研」が提唱した 100 歳大学の考え方にに基づき、シニアが今後の充実した人生について学び考えていくための大学として、2015 年 10 月に開校。第二期は 2016 年 9 月に開校予定である。

■活動のポイント

生涯学習としての単なる学びではなく、地域貢献や地域包括ケアシステムで活用可能な学びを提供し、「健康長寿のまちづくり」を推進する。

○	社会参加		地域性
	まちづくり		事業性

No.30 高年大学

運営主体：鯖江市

活動地域：福井県鯖江市

U R L：<http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=1561>

活動概要：市内に在住するシニアのための総合的な学び舎。約 500 名の学生が通う生涯学習の場を提供している。

■目的・狙い

長い人生経験と豊かな教養を重ねた高齢者が生涯学習の楽しみと趣味の増進を通じて仲間づくりの輪を広げ、併せて地域社会活動に積極的に参加しながら、より豊かで充実した社会生活を営むことを目的としている。

■事業内容

入学資格は原則として、市内在住の 60 歳以上の方。現在は約 500 名のシニアが通っている。授業料は年間 3,000 円で、他に実習用の学習教材費が実費負担となっている。学習は多種多様なカリキュラムで構成されており、学習内容は「コース学習」として A・B・C の 3 コースに分かれ、各コース 3 クラスの編成になっている。この「コース学習」のほか、毎月 1 回、全コースが同じ学習をする「全員学習」、文化・スポーツ関係に分かれて希望者により行われる「クラブ学習」の 3 つの構成になっている。期間は 4 月～11 月の 8 ヶ月間で、その他の月は自主クラブ活動の期間となっている。

施設には図書館や和室、調理室、体育館などもあるため座学だけでなく、食育のための調理実習や健康づくりのための体操などもカリキュラムも用意されている。

■立ち上げの経緯

1979 年から実施。創設当初は、市内の公民館などを利用していたが、1982 年より篤志家の寄贈により現在の施設へ。受講生も増加し常設の生涯学習施設となっている。

■活動のポイント

自治体が主体となり 1979 年から生涯学習の場を提供。文化祭やスポーツ大会なども開かれ、高齢者の学びだけでなく、地域交流の場・仲間作りの場としても定着している。

(3) 調査結果のまとめ

① 地域包括ケアシステムの機能を担うサービス創出モデル

先駆的事例調査の結果から、地域包括ケアシステムの「いきいき基盤」を核とした暮らしのサービスを創出しているモデルパターンとしては、「Ⅰ住民視点にモデル」、「Ⅱ高齢者の社会参加モデル」、「Ⅲ企業などによる自立支援モデル」、「Ⅳ自治体によるサポートモデル」の大きく4つに分類できる。それぞれのモデルパターンの特色は、以下に示すとおりである。

図表 16 地域包括ケアシステムの機能を担うサービス創出モデルパターン

タイプ分類	事業の立ち上がり	運営主体	取組みの継続・発展のポイント
Ⅰ 住民視点 モデル	地域住民・団体が身近な困りごとやアイデアをベースにスタート	地域住民の有志（その後NPO化し運営しているものもあり）	最初の発起人となるコアメンバーが強い思いと地域のネットワークを上手に活用しながら運営基盤を徐々に構築・拡大している。運営者自らが地域住民・団体であるため、「地域のため＝自分達のため」という視点で、意欲的に活動が行われている。更に地域ニーズに合わせて事業内容も柔軟に対応し、活動の幅を広げている。事業の継続性の観点では、人材育成と財源確保の仕組みづくりがポイントである。
Ⅱ 高齢者の 社会参加 モデル	高齢者が培ってきた知識や経験を活かして生きがいづくりや就労といった社会参加をしたいという思いをベースにスタート	NPOもしくは営利企業として運営	高齢者が自分たちの第2の人生を地域社会に役立てたいという思いが活動の動機となっており、高齢者がサービスを提供する側にまわることで、新たな生きがいづくりや就労につながっている。シニアの思いや能力と暮らしのサービスに求められているニーズとのマッチングを上手くできる仕組みを作っていくことが活動の充実・広がりポイントになる。
Ⅲ 企業など による 自立支援 モデル	企業などが健康・福祉サービスを公的財源の享受型モデルから自立型モデルへと転換・拡大してスタート	企業 社会福祉 法人	企業や社会福祉法人など事業運営のノウハウや地域資産を活かし、地域の一員として生きる力を身につける支援を行いながら地域の社会的課題の解決にも貢献する自立支援モデル。事業基盤が確立されており、事業継続性が高い。また障がい者に限らず高齢者など多様な地域人材が活躍できるモデルであり、今後このような民間企業などが主体となったいきいき基盤の創出・拡大が、社会システム充足のポイントになると考える。
Ⅳ 自治体によるサポート モデル	自治体が主となって、高齢者の社会参加のきっかけやマッチングの場を創出	行政	定年後の高齢者に地域活動、社会参画を促すとともに、スムーズに地域に溶け込めるようにする仕組みづくりを図ることは、いきいき基盤を充足する上で重要である。また、シニアとシニアが活躍できる場をつなぐコーディネート機能を行政と連携しながら行うことで、より多くの対象にアプローチすることが可能になると考える。

I. 住民視点モデル

従来、高齢者の見守り、居場所づくり、生活支援といった「あんしん基盤」は、行政、医療機関、介護機関などがその担い手の中心であった。今回調査したケースでは、地域住民・地域団体が主となり身近な困りごとや課題解決に主体的に参画し地域の暮らしを支えるサービスを創出し、「いきいき基盤」まで幅広くサポートしている。

具体的な事例としては、「みぬまハウス・大和田」「暮らし協同館なかよし」「ユーアイネット柏原」「よろず相談コミュニティカフェ」「暮らしの保健室」「高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」「幸せ手伝い隊」「みま~も」がそれにあたる。

どの活動も、「いつまでもこの地域で暮らしたい」「地域に恩返しをしたい」といった発想から生まれた活動となっている。運営者自らが地域住民・団体であるため、「地域のため＝自分達のため」という視点で、意欲的に活動が行われている様子が窺える。加えて、どの団体も地域ニーズに合わせて様々な事業に取り組み、活動の幅を広げている。

きっかけは、サークル的な活動からスタートした団体や特定非営利活動法人の主催する講座で出会ったメンバーが集まって立ち上げた団体など様々であるが、重要なのは、地域の中に手を挙げ具体的な形にする住民がいたことである。

事業の継続性の観点では、立ち上げ当初のメンバーに加え、人材育成と確保をいかに行うか、また事業費の原資となる財源確保を、営利事業などと組み合わせながらいかに行うかがポイントである。

II. 高齢者の社会参加モデル

シニアが培ってきた知識や経験を活かして生きがいつくりや就労といった社会参加をしたいという思いをベースに地域の暮らしを支えるサービスとして展開しており、「いきいき基盤」の代表的な活動である。

具体的な事例としては、「街かどデイハウス晴耕雨読舎」「かーちゃんのか・プロジェクト協議会」「きらめきライフ多摩」「みたか便利屋ネット」「きよぴー&とまと」「湘南ふじさわシニアネット」「シニア人財倶楽部」「シニアワークセンターとよなか」「アクティブファーム・せと」「ゴジカラ村」がそれにあたる。

シニアがサービスを受けるだけでなく、サービスを提供する側にまわることで、新たな生きがいつくりにつながっている。企業や組織をリタイアしたシニアが経営、経理、情報通信、環境などそれぞれが培ってきた知識・技術・経験を生かして、地域住民、企業、団体にサービス提供する活動である。

事業の継続性の観点では、シニアの思いや能力と暮らしのサービスに求められているニーズをいかにマッチングできるようその仕組みを作っていくかが活動の充実・広がりの上で重要なポイントとなる。

III. 企業などによる自立支援モデル

企業などが健康・福祉サービスを公的財源のみの享受型モデルから自立型モデルへと転換・拡大し地域の暮らしを支えるサービスを創出しているものであり、従来共助・公助の範囲である「あんしん基盤」に留まっていたサービスを、自助・互助モデルへと拡大している先駆的モデルである。

具体的な事例としては、「南光だ i 雲母倶楽部」「シェア金沢」「麦の郷」「C・ネットグループ」「創心會」「プチモンドさくら」がそれにあたる。

地域の一員として生きる力を身につける支援を通じ、地域の社会的課題の解決を図ることを目的としている。将来的には「商助」を通じた支え合いにより、地域で元気に働いてもら

う仕組みづくりとして、さまざまな段階に応じた支援を、自分で選択していく事で、障がいの有無に関わらず地域で当たり前のように生活する事を目指し自立支援モデルとして機能している。

事業の継続性の観点では、企業や社会福祉法人など事業運営のノウハウを有しているところが運営主体になっており、地域資産・ネットワークなどを有効に活用したモデル構築ができていく点が特筆すべきポイントである。今後このような民間企業などが主体となっていくいきいき基盤の創出・拡大が、社会システム充足のポイントになると考える。

IV. 自治体によるサポートモデル

自治体が主となって、高齢者の社会参加の入口づくりを行い、地域の暮らしを支えるサービス創出支援しているモデルである。特に定年後の高齢者に地域活動や社会参画を促すとともに、スムーズに地域に溶け込めるようにする仕組みづくりを図ることは、いきいき基盤を充足する上で重要なスタートラインである。

具体的な事例としては、「世田谷地域デビューの会」「いなべ市農業公園」「川上村」「三鷹いきいきプラス」「栗東 100 歳大学」「高年大学」がそれにあたる。

これらは、シニアの地域デビューのきっかけづくりや、経験と知恵をもっている元気な高齢者とサポートを必要としている人やグループをマッチングする機能として有用であり、行政と連携しいきいき基盤の創出支援に関わる際のモデルになると考えられる。

今後は、地域包括ケアシステム確立に向けて、こうしたシニアとシニアが活躍できる場をつなぐコーディネート機能を担うモデルの普及も重要となってくると考えられる。

② 高齢者の新たな社会参加スタイルとしての就労モデルの考え方

これまでの高齢者の社会参加は、ボランティアの延長線上で行われているものが多く社会貢献活動や生きがいづくりが主目的とされ、賃金は二の次と考えているケースが多かった。

しかし、年金受給額の引き下げなどが検討される将来において、年金だけでは十分な生活を送ることができない高齢者の増加も予見される。現行では、月収 5~6 万円のお小遣い稼ぎ程度から、月収 10 万円程度稼ぐ必要も出てくると考えられる。

このような中、高齢者の新たな社会参加スタイルとして、シニアがこれまで培ってきたスキルや知識を別のフィールドで役立てながら、しっかりと対価を受け取る就労モデルの構築も今後更に進めていく必要があると考える。

代表的な事例として、60 歳以上の高齢者専門人材派遣会社である株式会社高齢社がメディアで多数取り上げられ注目を集めているが、同様の活動を地域密着型で行う団体も存在する。具体的なモデルとしては、湘南ふじさわシニアネット（神奈川県藤沢市）、日本シニアジョブクラブ（東京都三鷹市）のように、企業や組織をリタイアしたシニアが経営、経理、情報通信、環境などそれぞれが培ってきた知識・技術・経験を生かして、地域住民、企業、団体にサービス提供する活動である。特に、湘南ふじさわシニアネットでは、地域・経験を活かした就労だけでなく、勉強会などの開催、サイクリング、コーラス、ゴルフなどの同好会活動を通じた、シニアの生きがいづくりを推進するとともに、教育などの社会貢献活動も積極的に取り組んでおり、地域包括ケアシステムにおける、シニアの新たな活躍の場づくりのモデルとして参考になるのではないかと考えられる。また、松山市のシルバー人材センターが行ったホワイトカラー層の就業機会創出支援事業「生涯現役セルフプロデュース実践プログラム」では、元経営者などマネジメントができる人材をリーダーとして位置づけ、その元で働ける人材をチーム化していく仕組みづくりとして参考になるケースであり、元経営者の人的ネットワークを有効に活用したビジネス創出支援などは、他地域でも参考になるモデルである。

上記のような地域密着型の生きがい就労の他、株式会社プチモンドが運営するサービス付き高齢者向け賃貸住宅「プチモンドさくら」では、施設内のさまざまな業務から、入居者の希望とできる範囲で仕事を提供し、対価を払う仕組みも生まれている。仕事の内容は、他の

入居者の食事作りや、緊急用の電話を持ち何かあったら駆けつけるといった宿直業務補助、敷地、剪定、共用部の清掃、郵便の取次ぎ、ゴミ出し、建物の門の開閉、見守り、介護・家事手伝いなど様々な業務が用意されている。実際の就労形態は非常に柔軟で、定期的に決められた仕事をするスタイルでも、できるときにできることだけを手伝うスタイルもあり、施設にいながらも仕事を見つけ生きがいにつなげようという取組みである。

これらの事例からは、従来の支援する側・される側といった一律的な線引きではなく、それぞれの能力に合わせて常に役割を持てる仕組みづくりの方策学ぶことができる。

6. 報告会開催

調査研究成果を関係者などへ広く情報発信するとともに、報告会を開催することで、地域の暮らしに関わる多様なメンバーが互いを知り、交流・連携できる機会を設けた。実施内容は以下のとおりである。

図表 17 報告会の概要

日時	内容	参加者
【関東地区報告会】 平成 28 年 3 月 22 日 18:45～20:45 日比谷コンベンションホール大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・国がすすめる高齢者施策（厚生労働省） ・地域包括ケアシステムの考え方 ・先進事例紹介「100歳大学」の取組み ・トークセッション「みんなで考える自立型地域包括ケアシステム」 	自治体、企業、 地域団体、 96名
【関西地区報告会】 平成 28 年 3 月 4 日 15:00～16:30 神戸ヤクルト販売株式会社ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの考え方 ・先進事例紹介「100歳大学」の取組み ・先進事例紹介「高齢者の社会参加の仕掛けづくり」企業と連携した松本市の取組み 	近畿経産局、 自治体、企業、 地域団体、 68名

図表 18 報告会の様子



7. 自立型地域包括ケアシステムに向けて

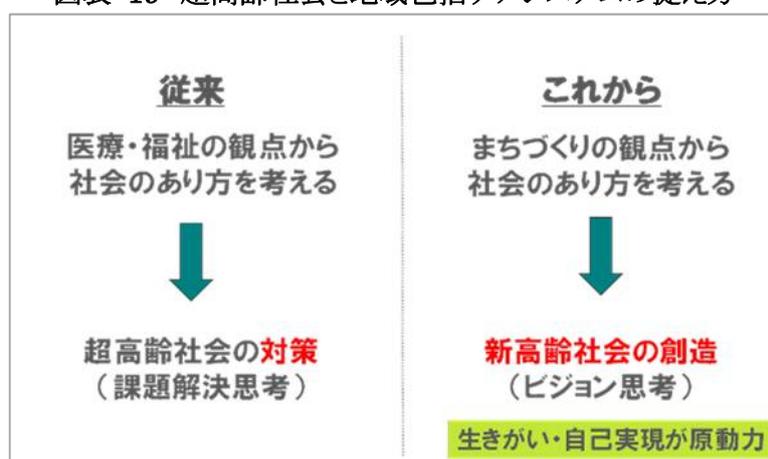
先駆的事例調査や、委員会における有識者の意見等をふまえた上で、自立型地域包括ケアシステムのあり方を検討する。

(1) 超高齢社会と地域包括ケアシステムの考え方

調査結果を概観すると、高齢者の社会参加を通じた地域包括ケアシステムのあり方には、まちの特性や課題に応じて様々な事業スタイルがある。しかしながら基本的姿勢として共通しているのは、これまでの高齢者施策のように、地域包括ケアシステムを、医療・福祉の観点から捉え、地域の課題解決の仕組みとしてそのあり方論を考えるのではなく、これから私たちが迎える超高齢社会に適応できる新しい暮らしのあり方を創出していくといった一歩先を見据えたまちづくりモデルとして捉えていく視点の転換が必要である。

そこで、自助、互助、さらには商助（ビジネスサポート）などによる、みんなで創る自立型地域包括ケアシステムのあり方について以下に述べることとする。

図表 19 超高齢社会と地域包括ケアシステムの捉え方



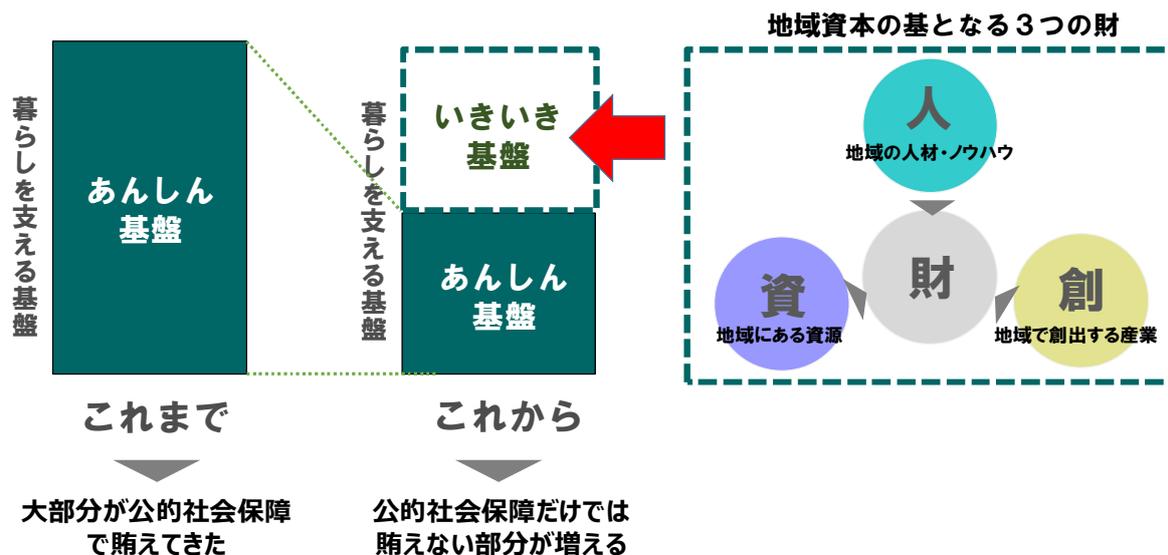
(2) 暮らしのサービスを充足するための「地域資本」と「地域社会保障」の考え方

これまでは、暮らしを支えるあんしん地盤の多くは、公的社会保障のサービスの範囲で賄えてきた。これから迎える超高齢社会においては、公的社会保障だけで賄えない暮らしの困りごとやニーズが増えることが予想される。

そこで、公的基盤で賄えないものを、いきいき基盤における暮らしのサービス＝“地域社会保障”として提供していくという新しい考え方がある。また、サービス構築に合わせて、その運営資金となる資本を得る必要があるが、これをコミュニティ単位で創出していこうというのが“地域資本”の考え方である。

「地域資本」の創出には、「人財＝人」「資財＝地域資産」「創財＝地域で創出される事業・サービス」の3つの財がある。それぞれのまちにあるこの3つの財をみつけて、つないで、つくりあげる、この過程を繰り返しながら進めていくことで、地域資本を創出していくことが可能になると考える。そのため、地域資本の創り方は、まちごとに異なる。

図表 20 地域資本の考え方



(3) 自立型地域包括ケアシステムの土台となるもの

私たちは世界一の長寿を手に入れた一方で、超高齢化、人口減少というこれからの時代をどう過ごすか、難しい課題に直面している。公的社会保障に限りがある中、住み慣れた地域で安心して充実した毎日を送るためには、みんなで知恵を出し合い、まちの状況にあったこれからの自立型地域モデルをつくっていく必要がある。

このまちづくりを進めていくときに、1つ大切な要件が、住民と住民、コミュニティとコミュニティの間に成り立つ“居心地のよい関係性”の構築（再構築）である。

古来、私たちの暮らしの中には、あまりお金をかけずとも、お互いの信頼関係の下、分かち合い助け合う相互扶助の精神があった。これが居心地の良い関係性であり、この上に「信頼」というプラットフォームが成り立ことで、暮らしの充実を図ることができていた。

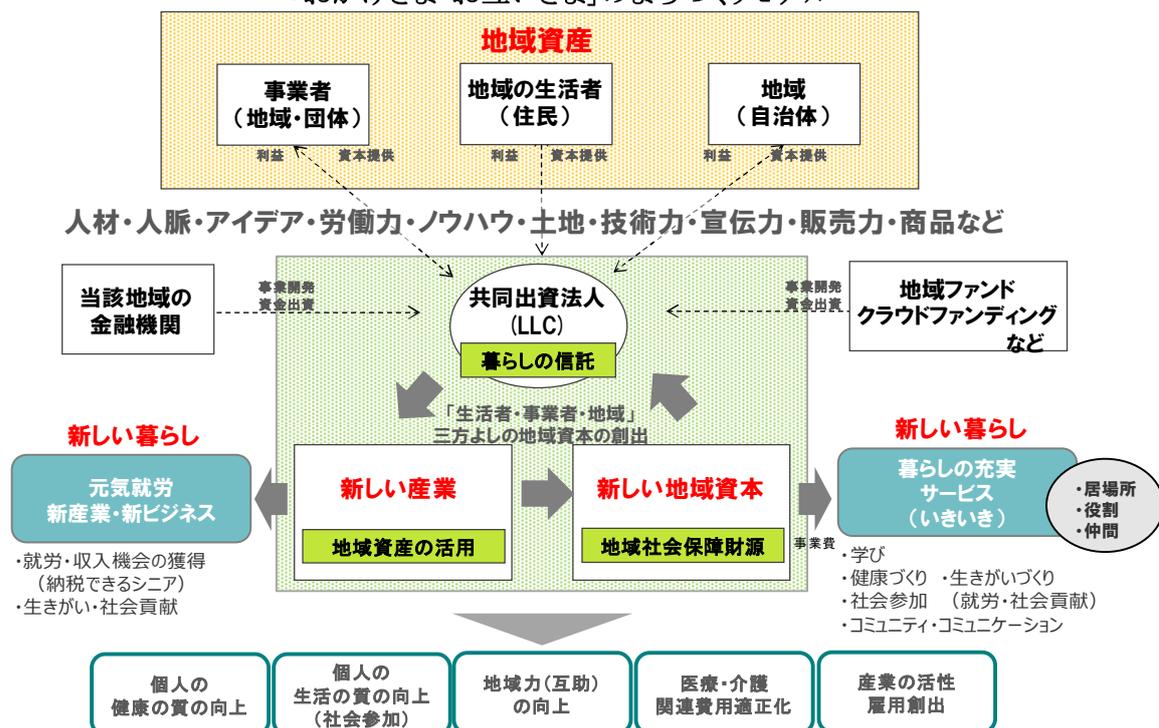
これは、まちの大きな宝であり力となる。私たちはこのまちづくりモデルを“おかげさま・お互いさまのまちづくり”として考えたい。

(4) おかげさま・おたがいさまのまちづくりモデルが目指す姿

おかげさま・おたがいさまのまちづくりモデルが目指す姿として以下に示すように、大きく4つの柱がある。

- 新たな高齢社会の創造
地域（自治体・住民）の不安、悩みや課題を、未来のまちづくりの期待に変える。
- 新たな地域資本の獲得
既存の地域資源をリデザインしながら、まちに必要な地域産業をうみ、地域資本を増やすとともに、社会参加の場を創出する。
- コミュニティの再構築
住民、コミュニティ間のゆるやかな関係を構築し、コミュニティを活性化し相互扶助の精神を醸成する。
- まちの姿にあった暮らしのサービスの充実
地域資本を財源に、まちの姿にあった独自の暮らしの充実サービス（地域社会保障）を創出する。

図表 21 「産業」「暮らしのサービス」「地域資本」の創出をはかる
「おかげさま・お互いさま」のまちづくりモデル



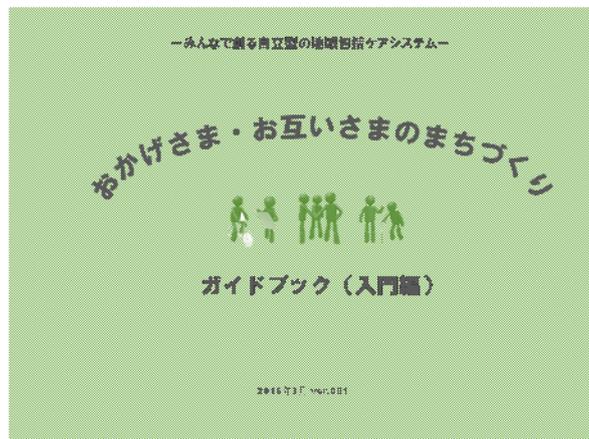
(5) おかげさま・お互いさまのまちづくりの進め方

これまでの調査研究において、地域の現場で多く聞かれた意見に、地域包括ケアシステムの必要性や課題認識は十分あっても、何をどこから手をつければよいのかわからないといったものがある。また、時として制度や機能志向で地域包括ケアシステムを捉えた結果、制度に当てはまらないもの、重複して無駄があるもの、機能は揃ったが運用が上手くいかないといったケースもみられる。

このような現状の課題に対し、まずは、まちに暮らしにかかわる人々がまちの現状を正しく認識した上で、自分たちが望むまちのあり方を共有し、その中でなにが充足して、何が不足しているのか、地域資産としてどのようなものが活用できるのか、まちの機能を考えながら必要なものを組み立てていく事が地域包括ケアシステムの出発点となる。

そこで、これから地域包括ケアシステムを自分たちの暮らしの単位の中で構築していく際の基本的な考え方のヒントとして、ガイドブック（入門編）を作成した。

図表 22 おかげさま・お互いさまのまちづくりガイドブック(入門編)



もくじ

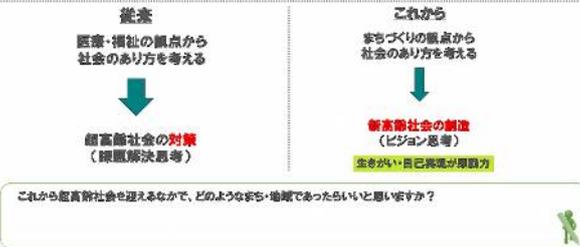
01 地域包括ケアシステムって何だろう？	09 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」の進め方
02 はじめよう！ 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」	10 みつける「まちを知ろう」
03 私たちが迎えるこれからの社会	11 みつける「まちを分析しよう」
04 「対策」から「創造」へ マインドチェンジ！	12 みつける「まちを分析しよう」
05 高齢者を含めみんなが主役になれるまちへ	13 つなく「仲間と共有しよう」
06 「地域資本」が暮らしのサービスの要となる	14 つなく「つながりを広げよう」
07 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」 が目指すもの	15 つくる「地域資本を創ろう」
08 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」出発点	参考 まちづくり実践事例

「対策」から「創造」へマインドチェンジ！ 04

これからの高齢者の課題は、健康・福祉の観点から捉えられることが多く、社会保障費の削減という課題が浮き彫りになり、地域経済や社会の発展と捉えられることが多くなっています。

しかし、これからの社会はこれまでとは異なる社会です。元々、高齢者がいる社会は、社会の支え手となる体力、気力、知力も合わせています。元々高齢者が生活の自己実現に向けたエネルギーは、まだ支え手とする大きな原動力に与えています。

これからする地域包括ケアシステムは、社会の文化に合わせて新しい世代の仕組みをつくり出す必要があります。**「健康・福祉」から「健康・福祉・経済」**へと、「**高齢者社会の課題解決**」を目的に行われ、最善の視点になります。このことで、人々の暮らしの充実や持続可能な社会システムにつながるものではないでしょうか。



高齢者を含めみんなが主役になれるまちへ 05

高齢者が生活の拠り所となる町や、子育て世代が育ちやすいまち、若者が活躍できるまち、多様な価値観が認められるまち、誰もが活躍できるまち。

まちの課題解決の中心となるのは、市民・事業者・行政の連携です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。

高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。

高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。また、高齢者の生活の質を向上させるためには、健康・福祉・経済の連携が重要です。

会社・仕事中心の生活



家・地域中心の生活

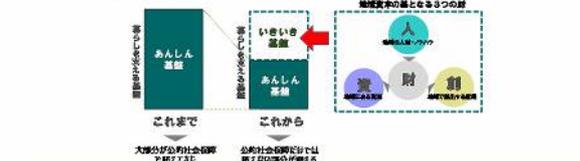


あなたのまち・地域で、高齢者などが暮らしの中で活躍できる環境は、どれくらい整っていますか？どのような活躍シーンが想定できますか？

「地域資本」が暮らしのサービスの要となる 06

これからの暮らしを支える人々の課題は、高齢者の課題だけでなく、子育て世代の課題も浮き彫りになりました。また、高齢者の課題だけでなく、子育て世代の課題も浮き彫りになりました。また、高齢者の課題だけでなく、子育て世代の課題も浮き彫りになりました。

地域資本の概念は、【人財】+【資本】+【関係】+【文化】+【制度】の5つの要素から構成されています。また、地域資本の概念は、【人財】+【資本】+【関係】+【文化】+【制度】の5つの要素から構成されています。



あなたのまち・地域で、地域資本の基となる3つの財にはどのようなものが考えられますか？

「おかげさま・お互いさま」のまちづくりを目指すもの 07

- ◆ 地域（住民・地域団体・行政）の不安、悩みや課題を、未来のまちづくりの礎に垂えていく
- ◆ 既存の地域資源をリデザインしながら、まちに必要な地域産業をつみ、地域資本を育てていく
- ◆ 住民と住民、コミュニティとコミュニティのゆるやかな関係を構築し、活性化しながら相互扶助の精神を醸成していく
- ◆ 地域資本を財源に、まちの姿にあった独自の暮らしの充実サービスを創出

あなたはどんなまちで、どのように暮らしたいですか？あなたが進む道を考えるだけ具体的に書いてみましょう。

「おかげさま・お互いさま」のまちづくりの出発点 08

今、暮らしているまちでの心配ごとやまちへの要望はありますか？

- 近所に暮らす人との関係が良好でなく、近所トラブルが多いと感じるのか？
- まちを歩くと、まちなかにないような新しい施設やサービスがあるのか？
- 近所住民の交流が盛んでないのか？ 近所での交流の場があるのか？

まちの課題や要望は、具体的に書いてみましょう。



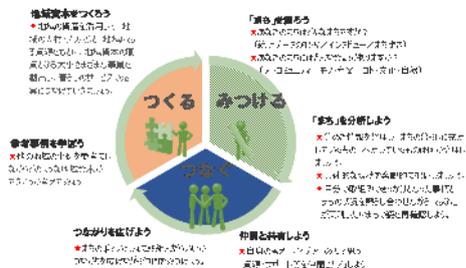
あなたが暮らしているまちでの心配事やまちへの要望はありますか？

「おかげさま・お互いさま」のまちづくりの進め方 09

まちづくりの軸となるのは、3つの視点「みつける」「つくる」「つなぐ」です。どの視点から始めてもかまいません。あなたがとりかかやすいところから、まずはじめてみましょう。

- ①「みつける」：まちの課題や要望を把握する。まちの課題や要望を把握し、課題の傾向を分析する。
- ②「つくる」：課題を解決するための活動やサービスを創出する。
- ③「つなぐ」：活動やサービスを継続するための仕組みを構築する。

最終的にまちを歩くと、まちなかにないような新しい施設やサービスがあるのか？近所住民の交流が盛んでないのか？近所での交流の場があるのか？





みつける「まちを知ろう」

10

<p>まちに関する各種統計データ</p>	<p>まちインタビュー</p> <p>まちの文化・風習・自然</p>	<p>地域資源・コミュニティ</p>
----------------------	------------------------------------	--------------------



みつける「まちを分析しよう」

11

集めた「まち」の情報を整理し分析しよう

①「まち」の要素・地域関係、②まちの「コミュニティ」など、把握した情報を整理し、整理し、整理しよう。
【まちの情報の整理・分析（例）】

まちの整理・分析結果から、どのような状況が明らかになりましたか？どのようなことが必要ですか？



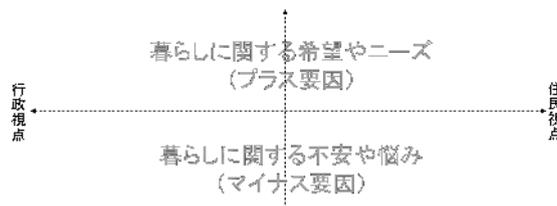
みつける「まちを分析しよう」

12

「まち」の状況・状態を分析項目を使って見える化してみよう

①まちの現状の状況を把握し、②まちの現状を分析項目（プラス要因）と、③まちに関する不安や悩み（マイナス要因）を把握し、④行政視点、住民視点でまちの現状を整理し、⑤まちの現状を整理し、⑥まちの現状を整理し、⑦まちの現状を整理し、⑧まちの現状を整理し、⑨まちの現状を整理し、⑩まちの現状を整理し、⑪まちの現状を整理し、⑫まちの現状を整理し、⑬まちの現状を整理し、⑭まちの現状を整理し、⑮まちの現状を整理し、⑯まちの現状を整理し、⑰まちの現状を整理し、⑱まちの現状を整理し、⑲まちの現状を整理し、⑳まちの現状を整理し、㉑まちの現状を整理し、㉒まちの現状を整理し、㉓まちの現状を整理し、㉔まちの現状を整理し、㉕まちの現状を整理し、㉖まちの現状を整理し、㉗まちの現状を整理し、㉘まちの現状を整理し、㉙まちの現状を整理し、㉚まちの現状を整理し、㉛まちの現状を整理し、㉜まちの現状を整理し、㉝まちの現状を整理し、㉞まちの現状を整理し、㉟まちの現状を整理し、㊱まちの現状を整理し、㊲まちの現状を整理し、㊳まちの現状を整理し、㊴まちの現状を整理し、㊵まちの現状を整理し、㊶まちの現状を整理し、㊷まちの現状を整理し、㊸まちの現状を整理し、㊹まちの現状を整理し、㊺まちの現状を整理し、㊻まちの現状を整理し、㊼まちの現状を整理し、㊽まちの現状を整理し、㊾まちの現状を整理し、㊿まちの現状を整理し、

【まちの分析地図（例）】



まちの整理・分析結果から、どのような状況が明らかになりましたか？どのようなことが必要ですか？

8. まとめ

公的社会保障は、家族・親族で行ってきた暮らしを支える私的扶養の負担を、社会全体で受け止め、経済成長とともに起こってきた都市化・核家族化などに対応できるよう「社会化」したものであると言われている。この仕組みが、私たちが示すところの「あんしん基盤」であり、長年この基盤は私たちの暮らしを下支えする要として重要な役割を果たしてきた。しかし、「高齢化の進展」や「人口減少社会」の到来など、社会環境も変化し続けている中、社会保障システムのあり方検討を含め、持続可能なシステムとしての再構築が求められている。持続可能な公的社会保障システムを維持する上では、公的社会保障以外の方法で暮らしを下支えする仕組みの構築も合わせて進める必要がある。

私たちは超高齢社会と地域包括ケアシステムの捉え方を、社会の変化に合わせながら新しい暮らしの仕組みを創っていくまちづくりであると考え、「新高齢社会の創造」をいかに行うかが、地域包括ケアシステムづくりにおいて重要な視点であると考えている。

その方策のひとつとして、今回提示したモデルが「いきいき基盤」を暮らしの中核においた「おかげさま・おたがいさまのまちづくり」であり、地域資本を原資とした新しい地域社会保障の仕組みづくりである。

「いきいき基盤」は、地域の「暮らし圏」の中にあり、住民が日常的に足を運ぶ「場」や、社会参加など「活動機会」の創出・提供にあたる基盤である。これらの「場」や「活動機会」をフィールドに、地域の人材・ノウハウと、地域にある資源を活用しながら、大小さまざまな規模の事業創出や公的サービスのアウトソースを図ることで、地域資本を形成することが可能になる。更に、この暮らしの基盤を単位としたサービスモデルは、地域の多様な主体が役割や生きがいを持つ機会創出につながり、まちの姿に合った暮らしの充実を図る仕組みを構築することができる。

この仕組みの肝となるのは、「みつける・つながる・つくる」の3つの視点で地域を捉えなおし、社会を支える共有財となる地域資本創出することであり、暮らしの基盤を下支えする新たな財源として重要な役割を果たす。さらに、この機能を具現化していくためには、マネジメント機能を担うファシリテーターや媒介者となるコミュニケーターの役割が重要であり、このような人材育成も合わせておこなっていくことが求められる。また、これからの社会の中心的存在となりえる高齢者が持つ生きがいや自己実現に向けたエネルギーは、まちを支え動かす大きな原動力になることから、その活躍が期待される場所である。

「地域包括ケアシステム」とは、自分たちがどのような暮らし方をしたいのか、そのありようを考えることから始まる。望む姿を思い描き、みんなで共有しながら、地域の宝（地域の資産）をみつけて、つないで、つくりあげる、そんなまちづくりのプロセスを繰り返すことである。その始まりは、ごく身近で些細な取組みが種となり、また何か新しいものを創らずとも、既にあるものをつないだり、リデザインしたりするだけで充足できることも沢山ある。そして正解モデルや完成形があるわけでもなく、常に人々の状況や暮らしに応じて対応できるしなやかなさが求められる。それ故に、地域包括ケアシステムは、地域が主体となって取組む自立型モデルとして創ることが重要であり、このことが、人々の暮らしの充実をはかるとともに、公的制度もふまえた持続可能な社会保障システムにつながると考える。

参考資料

ベース調査一覧 全国事例調査結果一覧

NPO など

みぬまハウス・大和田

【居場所/助け合い/生涯学習/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.minuma-hausu.net/index.html>

活動地域: 埼玉県さいたま市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

「このまちで暮らし続けたい」と願う、高齢者や障がい者、子育て中の方など、誰でもが参加でき、地域で暮らす人同士が、「お互いさま!」と言って助け合える関係と、いざという時に安心して頼れる仕組みをもった、みんなの居場所「みぬまハウス大和田」を運営。地域のボランティアが介護保険外で行うクラブ活動やコミュニティカフェ、講座の開催、手作り品、不用品(新品)などの販売、生活支援サービスのコーディネート、葬儀支援や介護相談などのよろず相談、リサイクルの仲介など、活動範囲は多岐にわたる。

街かどデイハウス「晴耕雨読舎」

【居場所/生きがい/健康づくり・介護予防】

詳細調査

事業データ

参照 URL: http://npo-takatsuki.org/seikou-udoku/2007/11/post_21.html

活動地域: 大阪府高槻市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

高槻市が行っている事業で、地域高齢者の介護予防と生きがいづくりを目的に、園芸を取り入れた福祉活動を実施。利用者が自分の区画で野菜を育て収穫する農業体験のほか、竹細工、採れたての野菜を使った食事での共食活動も行っている。

かーちゃんのカ・プロジェクト協議会

【居場所/生きがい/助け合い/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.ka-tyan.com/>

活動地域: 福島県福島市

運営主体: 地域特定非営利活動法人・国立大学法人など

事業概要

原発事故で避難を余儀なくされた女性農業者が中心となり、健康弁当をはじめ、注文による会議弁当、仕出し弁当などの生産販売、漬物やお菓子などの加工食品の製造販売、あぶくま茶屋での飲食の提供および物販加工食品や弁当の販売を行っている。営利事業だけではなく、避難者の支援、安全安心な食の提供、伝統文化や智慧の継承、情報発信といった非営利事業にも力を入れている。

きらめきライフ多摩

【生きがい/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.kiramekilifetama.sakura.ne.jp/index.html>

活動地域: 東京都三鷹市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

「地域社会の再生」の担い手となり地域のきずなの復活、コミュニティの再生、社会資源の復活、地域福祉の活動の活性化を目指し、理科離れが進む子ども達を対象に、シニアが講師となり理科実験教室を開催。シニアの活躍の場所と生きがいづくりを行っている。

みたか便利屋ネット

【生きがい/助け合い/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://jsjc.web.fc2.com/>

活動地域: 東京都三鷹市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

シニアの新たな就業のための相互支援グループ。三鷹市の中心部に拠点を置き、地域のシニアを集めて、健康や介護、悩みごとについての生活相談から、年金やパソコントラブルなどの専門的な相談、掃除や庭の草むしり、買い物、送迎などを行う「みたか便利屋ネット」などの活動を行っている。

世田谷地域デビューの会

【居場所/生きがい/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://setagayadebut.blogspot.jp/>

活動地域: 東京都世田谷区

運営主体: 任意団体

事業概要

定年退職したシニアなどを対象に“地域デビュー”を支援。それぞれの地域で活動する会員を介して仲間の輪を広げる会員同士のハブの役割を担う。認知症サポーター養成講座、裁判員制度の講習、高齢者問題などの講習会を通じ、「まちのたまり場」「情報交換の場」「仲間づくりの場」「実践研修の場」をつくる支援をする。

きよびー&とまと

【居場所/生きがい/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www15.plala.or.jp/kiyopi-/>

活動地域: 東京都八王子市

運営主体: 任意団体

事業概要

地域のシニア世代の主婦が中心となって、街中にある店舗を拠点に、折り紙教室や作品展示、世代間交流イベントなど様々な活動と、手づくり惣菜の販売や配食サービスを行っている。また、新組織「You&I」というサロンスペースを立ち上げ、地域交流の場として活動の輪を広げている。

事業データ

参照 URL: <http://www.npo-nakayoshi.org/>

活動地域: 茨城県ひたちなか市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

食、ふれあい、支え合い、生きがいをテーマに高齢化が進む地域において、地域住民の要望を受け、総菜や食品の販売・配達や食事ができる場、みんなが気軽に集まれる喫茶サロンを運営。また、高齢者を対象とした健康体操やリハビリ体操、食生活アドバイスなどの健康づくりや趣味講座など地域の多くの人材資源を発掘して生きがいつくりの場、季節行事や全世代が集まれる催事などを開催している。

湘南ふじさわシニアネット

事業データ

参照 URL: <http://www.sfs-net.com/>

活動地域: 神奈川県藤沢市

運営主体: 認定特定非営利活動法人

事業概要

シニアに「居場所」を提供して、社会との関わりの場として「出番」を作るため、企業や組織をリタイアしたシニアが経営、経理、情報通信、環境などそれぞれが培ってきた知識・技術・経験を生かして、個人事業主・商店主・中小企業経営者への経営・経理支援などのビジネスサポート、ホームページ作成、環境業務支援など幅広いサービスを提供している。

南光だ | 曇母倶楽部

事業データ

参照 URL: <http://www.koujinou.jp/sienkirara.html>

活動地域: 宮城県仙台市

運営主体: 特定非営利法人

事業概要

高次脳機能障がいの回復段階に合わせて、仙台市内で作業所を運営するほか介護保健事業として、デイサービス、居宅介護支援事業を実施している。高次脳機能障がい者のリハビリテーションの最終段階としての機能と就労の場という二つの側面を持つ。

シニア人財倶楽部

事業データ

参照 URL: <http://npo-s-jinzai.jp/>

活動地域: 福島県いわき市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

都市部に住むシニアが、経験や技術技能を活かし、中山間地域の遊休農地再生利用し、米や野菜を栽培。収穫した農作物は、「三和町なごみハウス」にある、惣菜加工場「おばちゃん厨房」、「御食事処なごみハウス」、ソバ打ち教室、料理教室などに活用。また、シニア向けパソコン講座図書の寄贈、絵本の読み聞かせ、オリジナル絵本の制作・配布、乗馬体験バスツアーの企画・実施なども行っている。

事業データ

参照 URL: <http://www.sayama-ui.net/>

活動地域: 埼玉県狭山市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

サービス提供会員も、利用会員も同じ柏原地域の住民。地域住民同士が支え合いながら生活する有償福祉サービス組織。「生活支援事業」とコミュニティサロン事業」を展開している。

事業データ

参照 URL: <http://www.yonosuke.or.jp/>

活動地域: 群馬県太田市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

自分たちで立ち上げたコミュニティカフェ(余之助茶屋)の一角で、地元のためにと専門知識を活かし、よろず相談を無料で受ける。余之助茶屋では、ランチとこだわりのコーヒーを提供するカフェであり、収益は活動資金の一部になっている。

事業データ

参照 URL: <http://active-sns.sakura.ne.jp/index.html>

活動地域: 愛知県瀬戸市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

元気な中高年(アクティブシニア)を中心に、遊休農地を利用し野菜づくりをし、採れた野菜は「シニアのこだわり 楽農園の新鮮野菜」のブランドで、農産物直売所や商店街、地域のイベントで販売提供を行う。農業を中心に仲間づくり、社会貢献活動、健康づくりを行い、シニアの自立、生きがいづくりを促進を図っている。

事業データ

参照 URL: <http://www.cares-hakujuji.com/services/kurashi>

活動地域: 東京都新宿区

運営主体: 特定非営利活動法人・株式会社

事業概要

医療や暮らしに関するさまざまな悩みを地域の医療・介護状況に熟知した相談員が無料で支援を行う拠点づくりのため「暮らしの保健室」が開設された。「暮らしの保健室」は相談をワンストップで受け止め、複数の適切な窓口へとつなぐ医療コーディネーターとしての機能を有する。

チャンプルーの会

【居場所/助け合い/健康づくり・介護予防/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://members.jcom.home.ne.jp/npo-sarah/>

活動地域: 東京都立川市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

地域に暮らす人がお互いに持ちつ持たれつで助け合って暮らしていけるまちづくりに取り組んでいる。地産の野菜を使用したメニューを提供する「レストランサラ」の運営から、地域の交流の場「ひろばサラ」の運営、デイサービス、ケアプラン作成事業などを行っている。

オトバ八王子

【居場所/生きがい/助け合い】

事業データ

参照 URL: <http://otopa802.jimdo.com/>

活動地域: 東京都八王子市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

八王子在住の定年シニアに対する「地域デビュー」支援のためのイベント。地域でボランティア活動や市民活動をしている様々な団体とパーティー参加者の関心をマッチングさせ、それらの活動を通して地域社会に貢献して、いきいきとした第二の人生を過ごしてもらうことを目的とした活動を展開している。

上尾アブセック

【助け合い/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.ageocci.or.jp/abcec/>

活動地域: 埼玉県上尾市

運営主体: 任意団体・商工会議所

事業概要

能力、資格、技術などを有する企業 OB 集団が、商工会議所と連携して中小企業に対して多角的な支援活動を行う。その他、子どもたちへの竹トンボづくり指導や商店街の活性化などの地域活動に取り組んでいる。

かながわ子ども教室

【生きがい/助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://kanagawakodomo.com/index.html>

活動地域: 神奈川県横浜市中心

運営主体: 特定非活動営利法人

事業概要

「子どもの健全な育成」と「高齢者の自立と生きがいづくり」を目的に活動。前身は神奈川県在住の企業退職者の集まりである「ダイヤかながわ交流会」。小学校などで学童を対象に放課後「こどもの科学・社会教室」を開催している。

ミニデイ「おとこの台所」

【生きがい/助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://dai.seta-odk.com/wp/>

活動地域: 東京都世田谷区

運営主体: 任意団体

事業概要

退職シニア男性の料理中心の活動グループ。区内 9 カ所のグループ(メンバー総数約 300 名)ごとに活動している。定例的な活動の他、地域包括支援センターや団地自治会などと協働して、地域の一人暮らし高齢者(男性)と一緒に料理を作って、会食・懇談するなどの取組みも行っている。

長崎さるくガイド

【生きがい/地域活性化/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.saruku.info/index.php>

活動地域: 長崎県長崎市

運営主体: 一般社団法人

事業概要

「さるく」とは、まちをぶらぶら歩くという意味の長崎弁。市民ボランティアの「長崎さるくガイド」が、長崎を訪れた観光客と一緒にまちを歩きながら案内をする。

イーハトーヴの住人

【生きがい/助け合い/健康づくり/介護予防】

事業データ

参照 URL: -

活動地域: 岩手県花巻市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

高齢者のいきがいづくりを通じた健康維持と「ぴんぴんころり」を希求し、健康、環境、食の安全などの問題を改善することにより元気な老いを楽しむと同時に介護予防を図る活動を行っている。

かんじゅく座

【生きがい】

事業データ

参照 URL: <http://kujira-enter.sakura.ne.jp/kanjukuza/>

活動地域: 東京都

運営主体: 任意団体

事業概要

平均年齢 68 歳のアマチュア劇団。定期公演の他出張公演、発声・朗読: 台詞などの演劇講座も開催している。全国シニア演劇大会にも出場している。

福祉劇団「鶴亀」

【生きがい/健康づくり/介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://www.s-shakyo.jp/122.html>

活動地域: 宮城県柴田町

運営主体: 任意団体

事業概要

横文字表記が多い中、様々な福祉サービスの正確な把握および利用の促進を目的として、“目で見てわかる福祉”をキャッチフレーズに「福祉劇公演」を実施している。劇団員はボランティアボランティア・特定非営利活動法人活動連絡会の運営委員、民生委員、ホームヘルパーなどの有志で構成されている。

エトセトラ

【生きがい/地域活性化/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.aurens.or.jp/hp/miz5104/etc/top.htm>

活動地域: 北海道釧路市、根室市中心

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

社会貢献活動をする教育公務員の特定非営利活動法人で、地域・住民と協働して活動を行う。教師の専門性を活かすことで、地域、親子、高齢者、教師自身の生きがいづくりを通じて地域の活性化を推進している。

友愛リーダー会

【生きがい/助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: http://www.cao.go.jp/lib_004/kourei/20130308ageless61.html

活動地域: 宮城県宮城郡

運営主体: 任意団体

事業概要

高齢者同士が支え合う友愛活動のモデル事業。老人クラブの「友愛リーダー」が中心となり、一人暮らしや寝たきり高齢者の話し相手になったり、日常生活の支援を通じて、閉じこもりや孤立の防止活動を行っている。

チーム農援隊

【生きがい/助け合い/地域活性/健康づくり/介護予防/就労】

事業データ

参照 URL: <http://nouentai-ssu.jimdo.com/>

活動地域: 埼玉県さいたま市

運営主体: 任意団体

事業概要

都市住民と農家の相互協力を基に、農業の継続を支援するとともに農地を中心とする自然環境の保全を目指し、農地の耕作支援や周辺の緑地保全などの活動を行っている。また、市民に対して地産農産物に関する知識の普及を目的としたイベントなどを実施している。

子ども会フェスティバル

【生きがい/地域活性化】

事業データ

参照 URL: <http://www.senior-club-shizuokaken.jp/clubaction/detail/17>

活動地域: 静岡県藤枝市

運営主体: 任意団体

事業概要

高齢者から子どもまでの三世代がお互いを理解し合い支え合う心を育むことを目的に「子ども会フェスティバル」を開催。「子ども会フェスティバル」は、割り箸鉄砲、ビーズプレスレット、組紐人形のストラップなどの手作りおもちゃや、あやとり、竹ぼっくりなどで遊ぶ催しを行っている。

常設型地域の茶の間「うちの実家」

【居場所/助け合い】

事業データ

参照 URL: http://www.chiiki.pref.niigata.jp/dukuri/pickup/no_9.html

活動地域: 新潟県新潟市

運営主体: 任意団体

事業概要

空家を活用した常設型の地域の茶の間。子どもから高齢者、障がいの有無にかかわらず、誰でも利用できる。世話する、人される人を分けない、役割はみんなにあるので役割はつけない、を運営主旨とした、出入り自由の気軽に助けある地域の場所。公的援助無しで採算の合う運営がされている。

みんなのお茶の間 くるくる

【居場所/助け合い】

事業データ

参照 URL: -

活動地域: 北海道札幌市

運営主体: 任意団体

事業概要

運営者の個人の自宅ガレージを改造して「くるくる」を開設。新潟市の「うちの実家」を手本としている。好きな時に、好きな事をして過ごすことをモットーに敢えて会員制にはしていない。高齢の利用者が来なくなると連絡を取るなど「茶の間でゆるやかにつながる」ことが見守りにもつながっている。

時間通貨・ありがとう

【居場所/助け合い/健康づくり・介護予防/就労】

事業データ

参照 URL: <http://55web.jp/sawayaka/index.html>

活動地域: 徳島県藍住町

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

感謝の気持ちのふれあい活動を通して、24時間、365日サービス提供をする有償常設型の憩いの場。ボランティア活動(インフォーマルケア)と介護保険・自立支援など(フォーマルケア)を組み合わせ、人らしい暮らしを支える地域の拠点となっている。

すずの会

【居場所/助け合い】

事業データ

参照 URL: <http://suzunokai.com/>

活動地域: 神奈川県川崎市

運営主体: 任意団体

事業概要

公的サービスではカバーできないニーズに対応する世話焼きボランティア活動。地域の中で孤立しがちな高齢者、障がい者、子育て世代がお互いに支え合える街づくりネットワークを目指している。すずの会の名称は、「困ったときに気軽に鈴を鳴らしてください」という思いが込められている。

コーデ騎士団

【助け合い】

事業データ

参照 URL: <http://setagaya-coordinats.jimdo.com/>

活動地域: 東京都世田谷区

運営主体: 任意団体

事業概要

定年退職者層の地域活動や団地の自治会などの地域コミュニティからの相談を受け、地域の課題解決を支援している。主な活動は、相談事業、ワンコインカフェバー事業、出前相談事業。2015年9月からは月1回の子ども食堂を開いている。

神戸定住外国人支援センター

【居場所/助け合い】

事業データ

参照 URL: <http://www.social-b.net/kfc/>

活動地域: 兵庫県神戸市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

多様な文化的背景を持つ外国人が地域で「ともに生きる(暮らす)」ことができる社会の実現を目的に活動。定住外国人の自立に向けた日本語学習、外国にルーツを持つ子どもの学力の確立などの支援を行っている。その他高齢者の介護事業と居場所づくり事業も実施している。

京都コリアン生活センター エルファ

【居場所/助け合い】

事業データ

参照 URL: <http://lfa-kyoto.org/>

活動地域: 京都府京都市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

京都在住の在日韓国人を始めとする外国籍住民と地域住民のための介護事業、子育て支援、障がい者支援、異文化交流の促進などの活動を行っている。

平野まちぐるみ博物館

【生きがい/地域活性】

事業データ

参照 URL: http://www.omoroide.com/index_em.html

活動地域: 大阪府大阪市平野区

運営主体: 任意団体

事業概要

まちぐるみ博物館では施設や展示物を整備するのではなく、運営者と訪問者とのコミュニケーションを通して、住民自身が楽しみながら地域の歴史や営みを再発見し、これからのまちづくりに生かしていく活動を行っている。行政とは一定の距離を保ち、住民主体のまちづくりにこだわり続けて活動している。

おだがいさまセンター

【居場所/助け合い/健康づくり・介護予防/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.odagaisama.info/>

活動地域: 福島県郡山市

運営主体: 富岡町社会福祉協議会

事業概要

東日本大震災以降、全町避難となった富岡町民の生活復興支援を目的に事業を展開している。事業実施は疎開先の郡山市。健康相談、居場所づくりとしての施設内サロン開催、助け合いの意識を醸成のための避難者のボランティア活動(草むしりなど)、情報誌やミニ FM 局による情報発信などを行っている。

カフェ・デ・モンク

【居場所/助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/kokoro/blog/sb.cgi?pid=0>

活動地域: 東日本大震災の避難場所など

運営主体: 任意団体

事業概要

宗教者、医療従事者、グリーンケア等が、東日本大震災の被災地や仮設住宅を移動式の喫茶店「カフェ・デ・モンク」を運営しながら巡回し、被災者の話に耳を傾け、その心に寄り添う取り組み。また、医療機関や福祉施設などで公共的な役割を果たす宗教者「臨床宗教師」の養成講座を東北大学で開設している。

あかねグループ

【助け合い/地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://npo-akane-group.jimdo.com/>

活動地域: 宮城県仙台市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

いつまでも住み慣れた地域で、在宅で、安心して暮らしていくための支援とボランティア活動の場の提供など、地域に根ざした活動を行っている。配食サービスをベースに、高齢者の介護・ケア、草刈りなどの地域活動、ファミリーサポート、サロン活動などを展開している。

とかちシニアネット

【生きがい/就労】

事業データ

参照 URL: <http://tokachi-senior.net/>

活動地域: 北海道帯広市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

パソコン教室の運営を通して、高齢者の生き甲斐づくりの支援を行っている。ITの知識・経験を有する高齢者に教室の講師になってもらい、その能力を発揮できる機会・場を提供している。パソコン教室の他、シニア情報生活アドバイザー養成講座やサークル活動なども行っている。

田辺市ICT情報交流サロン

【生きがい/地域活性/生涯学習】

事業データ

参照 URL: <http://www.tsuremote.net/>

活動地域: 和歌山県田辺市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

ICT情報交流サロンは地域住民に対してITリテラシーの向上を支援する拠点として、集落ごとに設置。都市部と農山漁村部の「ひと・もの・情報」の行き来を促進するなど、IT技術を活用した住みよい地域作りと、コミュニティビジネスの創出を目指した活動をしている。

莫祢ゴールド創世塾

【生きがい/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <https://www.pref.kagoshima.jp/ab12/kurashi-kankyo/kyodo/kanren/koukyousien/kettei23.html>

活動地域: 鹿児島県阿久根市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

児童の健全育成、高齢者の生きがいづくりを通して地域再生を実現するために、図書館を起点として活動を行っている。阿久根の観光・教育・文化の向上を目指して、移動おはなし会（読み聞かせ）、文化財名所めぐりなどの事業を実施している。

杜のつどい

【居場所/地域活性/生涯学習】

事業データ

参照 URL: <https://www.city.otaru.lg.jp/simin/korei/morinotudo/>

活動地域: 北海道小樽市

運営主体: 杜のつどい(小樽市高齢者懇談会)

事業概要

地域の空き商業スペースなどを活動拠点として活用し、まち中での「にぎわい空間の創出」と「地域コミュニティの再生」事業を展開。ふれあいサロン（講演とお茶懇）、脳力アップ講座、ペンシルバルーン制作講座、パソコン学習会などの交流・学習の機会と場（杜のひろば）を提供している。

長浜プラチナプラザ

【居場所/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.biwa.ne.jp/~machiya/work.html>

活動地域: 滋賀県長浜市

運営主体: 任意団体

事業概要

アクティブシニアの有志50人の共同出資により、長浜市「ゆう壺番街商店街」の空き店舗を活用したビジネス。地場の農産品や惣菜の販売、リサイクルショップ、井戸端カフェの店舗を運営する。運営スタッフは55歳以上で、プラチナプラザの運営会員になることが条件となっている。

どこでも介護

【助け合い/地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://www.dokodemo-kaigo.com/>

活動地域: 滋賀県大津市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

一人では外出ができない要介護の高齢者、障がい者を対象にした外出支援事業。ケア付きタクシー、旅行介護サービスが主たる事業。その他行政との協働事業、介護カフェ、生活支援、出張講座・講演などの地域密着サービスも行っている。

生活バス四日市

【助け合い/地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://www.rosenzu.com/sbus/>

活動地域: 三重県四日市市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

利用者数減少によって廃止された路線バスに代わり、住民が主体となり新たな公共交通の企画・運営を行う。運行は地元バス会社に委託、運営資金は運賃、沿線の企業からの協賛金、市の補助金で賄うなど、地域との連携を図りながら生活バスを運行している。

カフェ型保健室しらかば

【居場所/助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://www42.tok2.com/home/komachiuing/CCP008.html>

活動地域: 熊本県熊本市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

学校の保健室のように気軽に立ち寄れる健康管理および交流の場を地域に提供。保健・医療・福祉の専門職が常駐しており、健康チェック(問診・血圧測定)・健康や介護に関する相談を実施している。また、普段に立ち寄れる場としてティータイムを設けている。

市民後見人の会

【助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp/>

活動地域: 東京都品川区

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

成年後見制度を必要とする認知症や知的障がいがある高齢者を、市民後見人が支援する取組み。市民後見の制度を確立するために、市民後見人の養成やネットワークを構築する。市民後見は「生活ありき」のスタンスで、利用者に「心の安心」「生活の安心」「身体の安心」に加え、「判断の安心」を提供する。

つまごい竹の子グループ

【助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <https://www.pref.gunma.jp/contents/000326108.pdf>

活動地域: 群馬県吾妻郡

運営主体: 任意団体

事業概要

地場産大豆から豆腐・納豆などの大豆加工食品を製造、販売している。スーパーへの卸の他、個人宅へ訪問販売を行っている。高齢者に対しては、配送をかねて見守り活動を行っている。職場には年齢制限がなく、元気高齢者の活躍の場となっている。

ASUの会

【生きがい/生涯学習就/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.npo-asu.com/>

活動地域: 大阪府堺市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

市のシルバーアドバイザー養成講座を修了した仲間で立ち上げた任意団体の特定非営利活動法人化。元気で自立的な高齢者の要望に応えるため、これまでの知識や経験を活かし、高齢者がともに楽しむことができる参加型のサロン事業や、環境の保全、まちづくりの推進事業を行っている。

ヴェイムシイ

【助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.vmcy.com/>

活動地域: 神奈川県横浜市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

団塊の世代の企業 OB 集団が、豊富な知識、経験とネットワークを活用して中小企業や起業家支援を行い、誰もが生きがいを持てる活力あるまちづくりを目指している。その他シニアの交流事業やまちづくりを推進する団体などへの支援事業も行っている。

事業データ

参照 URL: <http://www.npo.pref.gunma.jp/db/npo/view.php?id=649>

活動地域: 群馬県高崎市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

高齢者が集う社会参加の場を提供することを目的に、さまざまな活動をしている。気軽に立ち寄る感覚で参加できる趣味・教養講座やイベントを開催。また、高齢者支援として、掃除や買い物、草むしりなどを有償で請け負っている。

鴨居みかん台ボランティア会

事業データ

参照 URL: https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3010/chiiki_fukushi/documents/26mikandai.pdf

活動地域: 神奈川県横須賀市

運営主体: 任意団体

事業概要

「元気で住みよしみかん台」づくりを目指し、自治会、民生委員、社会福祉推進委員が中心となり活動する地域ボランティア団体。高齢者の居場所づくりや生きがいつくり・健康増進支援、公園の美化や子どもの見守り・防犯パトロールなどの地域活動を行っている。

企業福祉など

シェア金沢

事業データ

参照 URL: <http://share-kanazawa.com/>

活動地域: 石川県金沢市

運営主体: 社会福祉法人

事業概要

シェア金沢には、サービス付き高齢者向け住宅、学生向け住宅、児童入所施設、児童発達支援センター、高齢者デイサービスが存立。地域事業者が「支え合いとともに暮らすまちづくり」に賛同して事業に参画。クリーニング店、天然温泉、レストラン、スポーツなどの施設が敷地内に入居して営業している。全住民が役割を持ってまちづくりと運営に参加している。

事業データ

参照 URL: <http://gojikaramura.jp/>

活動地域: 愛知県長久手市

運営主体: 社会福祉法人

事業概要

失われていく雑木林の保全と地域のつながりの再生を推進しながら、多様な世代が暮らす自然村を具現化する。介護老人福祉施設、ショートステイ、在宅介護支援センター、ケアハウス、デイサービスセンター、グループホーム、共同生活「ぼちぼち長屋」、愛知たいよう幼稚園、・自然幼稚園「もりのようちえん」、介護福祉士養成学院(介護・看護・保健学科)の運営など多様な業態を運営しながら、時間に追われないおらかな暮らしの実現を目指している。

麦の郷**事業データ**

参照 URL: <http://muginosato.jp/index.html>

活動地域: 和歌山県和歌山市

運営主体: 社会福祉法人

事業概要

障がい者やその家族の現状を「放っとけやん(和歌山弁で放ってはおけない)」という強い思いから、1977年、「たつのこ共同作業所」としてスタート。その後、数々の支援者の協力や参画を経て、行政機関や民間団体の協同の下、障がい者の社会参画に取組み、多数の施設を開所し法人格の認可も受ける。現在では、発達支援、不登校・ひきこもり支援、高齢者支援なども含めた総合的な支援団体として活動を行っている。

C・ネットグループ**事業データ**

参照 URL: <http://www.c-net.or.jp/index.html>

活動地域: 福井県福井市

運営主体: 有限会社・社会福祉法人

事業概要

障がいを持った方たちの仕事と暮らしの支援を通して、地域社会における共生の実現に向けて、福祉サービスの充実を図り、日常生活および社会生活を総合的に支援するため、社会福祉法人コミュニティーネットワークふくいを中心とし、11の直営事業所、7つのグループ法人が様々な事業、幅広いサービス提供をしている。

事業データ

参照 URL:<http://www.soushinkai.com/home/>

活動地域:岡山県倉敷市

運営主体:株式会社

事業概要

予防から終末期までのケアを住み慣れた地域で完結するために、医療・介護・福祉分野において様々な事業を行う。居宅介護支援事業・訪問看護事業・訪問介護事業・福祉用具貸与事業・介護リフォーム事業・デイサービス事業・グループホーム・住宅型有料老人ホーム・鍼灸接骨院・児童発達支援・放課後などデイサービス・ショートステイ・保育所のほか、就労継続支援 A 型と B 型の事業に取り組んでいる。また、農業をキーワードに子どもと高齢者の多世代交流を進める。

元気スタンド・ぷリズム**事業データ**

参照 URL:<http://genki.cafe.coocan.jp/menu.html>

活動地域:埼玉県幸手市

運営主体:合同会社

事業概要

商店街の一角でコミュニティカフェ「元気スタンド・ぷリズム」を運営。押し付けない介護予防の環境の提供を目標に、高齢者がいつまでも元気に楽しく暮らせるように、介護に陥る病気の予防方法の情報発信と、それを基にしたメニュー提案を行っている。また、様々な暮らしに役立つ情報を受けられるようにしており、地域のふれあいの場所、みんなの居場所となっている。

幸せ手伝い隊**事業データ**

参照 URL:https://www.pref.saitama.lg.jp/a0302/sasaeai/documents/461889_1.pdf

活動地域:埼玉県幸手市

運営主体:商店会協同組合

事業概要

家族や地域社会のために、過去に培ってきた豊かな経験、知識、知恵を有効に活かし、老若世代間の交流の機会を提供し、労働力、経済力へと有効に活かす環境を作る目的で、介護サービスでは対応しきれない日常生活の困りごとの解決を元気な高齢者などが手伝い、その謝礼として商店会などの加盟店で使用できる地域商品券を渡す仕組み。利用者と労働提供者の愛だのチケットの差額分はボランティア保険と地域支え合いの事務費として活用する工夫もなされている。

事業データ

参照 URL: <http://www.petitmonde.jp/index.html>

活動地域: 千葉県佐倉市

運営主体: 株式会社

事業概要

「自立と共生」の理念の下、お互いに助け合いながら共生する現代版の長屋を目指した、働けるサービス付き高齢者賃貸住宅。居者間だけではなく、外部の人たちともカフェや山羊を通してふれ合い、地域のコミュニティづくりにも貢献している。

事業データ

参照 URL: <http://seniorwork.startupbiz.jp/>

活動地域: 大阪府豊中市

運営主体: 株式会社

事業概要

豊中市からシニアの就労を促進する事業を委託され、定年後などのシニアの就業を支援する場として設立され、講師育成などの講座開催、就業の場を提供している。現在行われている事業は、マンション管理事業、農業、園芸事業、塾講師養成、設備・電気工事などとなっている。

事業データ

参照 URL: http://www.ota1010.com/j_main.html

活動地域: 東京都大田区

運営主体: 大田浴場連合会

事業概要

地域の高齢者にとって、気分転換と憩いの場となっている区内の公衆浴場(銭湯)を、の交流、介護予防の場として積極的に活用。高齢者を対象に、健康体操、落語、民謡などのイベントを無料で開催している。

事業データ

参照 URL: <http://c-net.jp/nasu>

活動地域: 栃木県那須町

運営主体: 株式会社

事業概要

高齢者の自立と共生を実現する持続可能な多世代共生型コミュニティを創設。高齢者が社会と関わりながら、元気な時から人生の最期(完成期)を迎えるまで、コミュニティの中で安心して暮らせる地域づくりを目指しながら、住まいとサービスの提供を行っている。

土澤・新長屋暮らし

【居場所/生きがい/地域活性】

事業データ

参照 URL : <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/genki/090707/pdf/113.pdf>

活動地域: 岩手県花巻市

運営主体: 株式会社・合同会社

事業概要

旧東和町と住民が共同出資で設立、会社は、商店街の活性化ため、「まちかど美術館」開催などの活動を行っている。また、会社の役員を中心に合同会社 土澤長屋暮らしを立ち上げ、店舗付きの街なか居住長屋「こっぼら土澤」を10年越しに住民主体で完成させ、住民同士で支え合う暮らしを推進する。

株式会社 しまの会社

【居場所/生きがい/地域活性】

事業データ

参照 URL : <http://www.kibounoshima.jp/kaisha/>

活動地域: 愛媛県上島町

運営主体: 株式会社

事業概要

島民の出資により、村おこしの会社を設立。島の資源を活かした商品を企画し、「しま café」で販売をしている。「しま café」は地域住民の憩いの場としても機能している。また、島外から講師を招くなど、外部との交流を図りながら地域の課題を解決していく「しまの大学」にも取り組んでいる。島しょ部の地域活性(島おこし)のモデルケースとなっている。

株式会社 やねだん

【居場所/生きがい/地域活性】

事業データ

参照 URL : <http://www.yanedan.com/>

活動地域: 鹿児島県鹿屋市

運営主体: 柳谷町内会

事業概要

人口300人の過疎地域の集落において、住民が行政に頼らずに集落全体が生き生きとした暮らしを送ることができる地域づくりを展開。からいも生産による自主財源の確保、「芋焼酎やねだん」の開発・販売、住民の活動拠点や居場所の確保、高齢者の見守りなどの活動を通じて地域の課題解決を図っている。

豊田百年草事業

【就労】

事業データ

参照 URL : <http://www.hyakunensou.co.jp/shop/html/>

活動地域: 愛知県豊田市

運営主体: 株式会社

事業概要

百年草、は豊田市の公社「株式会社三州足助公社」の事業分野の一つで、観光施設と福祉センターを統合した事業として、高齢者が中心となりホテル、レストラン、パンやハムの製造販売を行っている。製造部門のパート社員の約7割は70歳以上の高齢者であり、生きがい就労の場としても機能している。

大船渡屋台村

【居場所/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.5502710.com/company.php>

活動地域: 岩手県大船渡市

運営主体: 有限責任事業組合

事業概要

東日本大震災で被災した大船渡地区飲食店組合長が中心となり、「飲食店の明かりから町の復興を」を掲げ大船渡町に期間限定の仮設飲食店街をオープン。自治体から中小企業基盤整備機構の「仮施設設整備事業」の要請を受けて整備を進めた。

葉っぱビジネス「彩(いろどり)事業」

【地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.irodori.co.jp/>

活動地域: 徳島県勝浦郡

運営主体: 株式会社

事業概要

過疎化と高齢化が進む上勝町で地域資源を活用して展開する「葉っぱビジネス」は、地域活性化のビジネスモデル。日本料理に添える季節の葉や花、山菜などの「つま」を、栽培・出荷・販売。労働力の中心は地域の女性や高齢者。多数の視察や講演依頼にも対応している

シニアSOHO普及サロン・三鷹

【居場所/生きがい/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.svsoho.gr.jp/>

活動地域: 東京都三鷹市

運営主体: 特定非営利活動法人

事業概要

地域のアクティブシニアが自らの居場所と出番を創る場(プラットフォーム)の提供とコミュニティビジネスの支援活動を行っている。シニアによるシニアのためのパソコン講座事業、市内小中学校のIT委託事業、地域貢献を目的として行われる活動の企画・実践などの事業を展開する中で、生きがいづくりを促進している。

商店街送迎自転車サービス

【助け合い/地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1411murayama.pdf>

活動地域: 東京都武蔵村山市(都営村山団地)

運営主体: 商店街組合・商工会議所

事業概要

高齢化率約47%の(平成26年)都営マンモス団地の高齢者のために、村山団地中央商店街店・郵便局・医院・介護センターとの間を特注3輪自転車の無料送迎する事業。武蔵村山市商工会と連携して、高齢者の外出を支援。商店街の活性化にも寄与している。

医商連携・那覇栄町市場商店街

【助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://sakaemachi-ichiba.net/shop56.html>

活動地域: 沖縄県那覇市

運営主体: 医療法人・商店街組合

事業概要

地域の中高齢の若返りと地域活性化を目指し、医療法人と商店街が連携して、商店街の中にアンテナショップを設営。健康づくりから食事・食材の確保、買物の支援などにおいて、特に高齢者を支える体制を地域ぐるみで整備する取組みを行っている。

東京農業大学グリーンアカデミー

【生きがい/生涯学習就/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.nodai.ac.jp/extension/green.html>

活動地域: 東京都世田谷区

運営主体: 学校法人

事業概要

健康で学習意欲のあるアクティブシニアを対象とした東京農業大学のエクステンション講座の一つ。大学の教育ノウハウをもとに園芸・造園の知識と技能などの習得を通じた生きがいづくりの場を提供している。講座の修了生は、取得したスキルを活かして砧公園などでボランティア活動をしている。

須崎日曜市・木曜日

【生きがい/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://susakishikankou.com/sightseeing>

活動地域: 高知県須崎市

運営主体: 販売組合

事業概要

須崎市街地の街路で毎週日曜日・木曜日の早朝から正午まで開かれる、50年以上続く朝市。野菜、果物、海産物、加工食品、植木、雑貨品が販売される。組合員の平均年齢は75歳以上。出店する高齢者の就労と生きがいの場になっていると共に、高齢の利用者の閉じこもり予防や交流・情報交換の場としての役割を果たしている。

高齢者困りごと援助サービス

【助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.moroyama-shakyo.or.jp/jigyo/page.php?eid=00015>

活動地域: 埼玉県入間郡

運営主体: 社会福祉法人

事業概要

高齢になっても地域で自立した生活が送れるよう、ひとり暮らしの高齢者および高齢者世帯に対し、電球・蛍光灯の取替えや買い物付き添いなどの暮らしのちょっとした困りごとを有償で援助するサービス。町民の参加と協力を得て、地域支え合いを推進している。

ボランティアバンク おたすけ隊

【助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.miyanokawa.com/torikumi.html>

活動地域: 埼玉県秩父市

運営主体: 商店街組合

事業概要

県と市と商店街振興組合の協働事業で、援助を必要としている高齢者、障がい者などにボランティアメンバーが、有償で必要な支援を行う。ボランティアで仕事をした時間を貯蓄し、自分自身や家族のために利用するほか、秩父市の共通商品券で受け取ることができる。

農事組合法人 国府野菜本舗

【地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://kokufuyasaihonpo.com/>

<https://www.pref.gunma.jp/contents/000326090.pdf>

活動地域: 群馬県高崎市

運営主体: 農事組合法人

事業概要

地産物の農産物を直接販売する同法人の国分にんじんの生産部門。メンバーは60～70代の男性で、かつての名産品「国分にんじん」を復活させ、生産や加工販売している。農業経験者の他に、定年退職した元社員も多く関わっており、地域の人的資源を有効に活かした地産地消モデルとなっている。

こぶし園

【居場所/生きがい/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL: <http://www.kobushien.com/index.php?id=47>

活動地域: 新潟県長岡市

運営主体: 社会福祉法人

事業概要

住み慣れたまちで暮らし続けながら必要な介護サービスを受けられるよう、こぶし園は長岡市を拠点にしない18カ所のサポートセンターで包括ケアを提供している。24時間365日のケアサービスを全国に推し進めるモデルケースとなっている。サポートセンター内には地域住民が集えるカフェや共有スペースが設置されている。

伝統野菜プロジェクト「楽畑」

【生きがい/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.dentouyasai.net/rakuhata/katudou.html#rakuhata>

活動地域: 大阪府堺市

運営主体: 任意団体

事業概要

なにわの伝統野菜の普及活動を通じた「登録文化財の兒山(こやま)家住宅」と周辺の田園風景保全事業。近隣住民の兒山家の保全活動が拡大してプロジェクトが発足。無農薬・有機栽培の伝統野菜の地産地消を推進している。土づくりから収穫までを参加者全員で一緒に作業する。地域交流活動として収穫祭を開催している。

事業データ

参照 URL:kamata-mimamo.sakura.ne.jp/

活動地域:東京都大田区

運営主体:任意団体(地域包括支援センター)

事業概要

東京都大田区において、地域住民、商店や地域で働く人たち、サービス事業所など大都市のメリットを活かした、様々な人たちによる見守り、支えあいによる「都市型の見守りネットワーク」を構築し、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを行っている。

自治体

事業データ

参照 URL:<http://www.inabe-nougyoukouen.com/index.html>

活動地域:三重県いなべ市

運営主体:一般社団法人

事業概要

高齢者が生きがいを持ち生活できるようにする元気高齢者対策および地域農業を守る対策として、特に高齢化の著しい県地区において荒廃農地を有効に活用した都市農村交流拠点(農業公園)を整備し、都市と農村との相互理解の促進、高齢者就業機会の確保、農地の新たな活用による特産品の開発、生産者の生きがい発揮による地域の活性化を図っている。

事業データ

参照 URL:<http://www.vill.kawakami.nagano.jp/index.html>

活動地域:長野県南佐久郡

運営主体:川上村

事業概要

村長自らが推進役となり、地域資源である高冷地を活かした野菜のブランディングによる地域活性化を実現させた。農林水産省からの補助金と村の財源を組み合わせることで取り組んだ地域資本創出の先進的モデルとなっている。

三鷹いきいきプラス

【生きがい/助け合い/就労】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.svsoho.com/place/index.html>

活動地域: 東京都三鷹市

運営主体: 三鷹市

事業概要

三鷹市が事業主体となり、特定非営利活動法人シニア SOHO 普及サロン・三鷹が事務局業務を受託し運営。「三鷹いきいきプラス」は、仕事や趣味をはじめボランティア活動など、経験と知恵をもっている元気な高齢者とサポートを必要としている人やグループを、IT などの活用を通してしてきめ細かくマッチングを図る仕組みを構築している。

栗東 100 歳大学

【生きがい/健康づくり/介護予防/生涯学習】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.city.ritto.shiga.jp/koho/1603/pdf/r0313.pdf>

活動地域: 滋賀県栗東市

運営主体: 栗東市

事業概要

一般社団法人「健康・福祉総研」が提唱した 100 歳大学の考え方にもとづき 2015 年 10 月に開校。『第2の義務教育』として、充実した今後の人生を考えていくため、健康保持や生きがいづくり、死への備えなどを学ぶ連続講座を開催。カリキュラムは、「健康づくり」「生きがいづくり」「福祉」「地域」「幸せづくり」の5基礎科目で構成されている。

高年大学

【生きがい/生涯学習】

詳細調査

事業データ

参照 URL: <http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=1561>

活動地域: 福井県鯖江市

運営主体: 鯖江市

事業概要

市内に在住するシニアのための総合的な学び舎。約 500 名の学生が通う生涯学習の場を提供。入学資格は、原則として、市内在住で 60 歳以上の方。現在は、約 500 名のシニアが通っている。授業料として年間 3,000 円。他に実習用の学習教材費は実費負担となっている。

富岡製糸場解説員の会

【生きがい/地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://www2.city.tomioka.lg.jp/worldheritage/index.shtml>

活動地域: 群馬県富岡市

運営主体: 富岡市

事業概要

定年退職した富岡市とその周辺住民のアクティブシニアが中心の団体。富岡製糸場を訪れた観光客に対して、解説員養成研修を受けた有償ボランティアがガイドを務める。80 歳を超える会員もいる。会員は誇りを持って地域の魅力を PR している。

フレイルサポーター

【生きがい/助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL:

http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/013/670/leaflet.pdf

活動地域: 神奈川県(茅ヶ崎市・小田原市)

運営主体: 神奈川県

事業概要

高齢者のフレイル(虚弱)予防のために自治体が開催するフレイルチェック(東京大学が考案したフレイルの兆候を発見する判定)を、養成研修を受けたフレイルサポーターが自治体と連携して実施運営する。サポーター活動への参加が生きがいづくりにつながると同時にフレイルチェック参加者も介護予防のきっかけができ、地域全体が元気になる取組みを行っている。

スポーツボイス大学院

【居場所/健康づくり・介護予防/生涯学習】

事業データ

参照 URL: <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/kenko/oshirase/kouukinou.html>

活動地域: 長野県松本市

事業主体: 松本市・株式会社・国立大学法人

事業概要

閉じこもりが心配される定年退職後の男性を対象に、集団で歌を練習し、発表してもらい講座を設け、発声練習としての筋力トレーニングを実施している。

図書館サポーター

【生きがい/助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: http://www.city.shinjuku.lg.jp/library/index02_04.html

活動地域: 東京都新宿区

運営主体: 新宿区(区立中央図書館)

事業概要

読み聞かせや対面朗読、書架整理、本の修理など、図書館のさまざまな活動に地域の住民がボランティアとして参加。また、体が不自由などで図書館に来ることができない利用者には、本を自宅に届ける家庭配本を実施している。

ふれあい住宅

【助け合い】

事業データ

参照 URL: http://www1.g-reiki.net/otofuke/reiki_honbun/a183RG00000379.html

活動地域: 北海道河東郡音更町

運営主体: 音更町役場

事業概要

音更町は、在宅福祉の充実を図るため、単身高齢者と若者(学生)がふれあい、交流しながら共同生活を送るふれあい住宅を設置。高齢者は自立した生活ができることが条件で、コモンスペースの管理は入居者が輪番制で行う。学生(福祉大学)にとっては高齢者福祉の実践体験の場としても機能している。

大山自治会

【助け合い/健康づくり・介護予防】

事業データ

参照 URL : <http://www.tachikawa-jichiren.com/category/1847294.html>

場所 : 東京都立川市

事業主体: 大山自治会

事業概要

高齢化率約 30%の大山団地において、孤独死ゼロの実現とともに安心・安全コミュニティの形成を推進している。住民の理解により全世帯の名簿を作成し、高齢者や子どもの見守り活動に役立っている。また、両隣 2 件の見守りを強化し、認知症の早期発見に役立っている。

多摩平 団地再生

【居場所/地域活性】

事業データ

参照 URL : http://www.ur-net.go.jp/rd/04_tech/report2012/2012_05.pdf

活動地域: 東京都日野市

運営主体: 株式会社・UR 都市機構

事業概要

都市近郊の老朽化した団地の再生に伴い、高齢者が安心して住める都市型コミュニティを形成。名称は「たまむすびテラス」、団地型シェアハウス、菜園付き共同住宅、サービス付き高齢者賃貸住宅・コミュニティハウスに区画されている。大都市圏の老朽化・高齢化が進んだ団地再生の先駆的モデルとなっている。

村丸ごと生活博物館

【生きがい/地域活性/就労】

事業データ

参照 URL : <http://www.city.minamata.lg.jp/423.html>

活動地域: 熊本県水俣市

運営主体: 水俣市

事業概要

平成 13 年に制定された「水俣市元気村づくり条例」に基づき、地域の自然・産業・生活文化を守り育てる地域全体を「村丸ごと生活博物館」として指定。認定された「生活学芸員」が地域案内の、「生活職人」がものづくり体験の担当となり、村の訪問者を応接。それら活動を通じて地域・住民がともに元気になる仕組みづくりを図る。

むらの技能伝承士

【地域活性/就労】

事業データ

参照 URL : <http://www.pref.kagawa.lg.jp/agrinet/densyosi/>

活動地域: 香川県

運営主体: 香川県

事業概要

高齢者が有する優れた経験、知識、技能を発揮して、いきいきと活動できる地域社会を築くことを目的とした「香川県むらの技能伝承士」の登録制度。技能の伝承・普及を通して農林水産業の振興や農山漁村の活性化に取り組む県の政策。講演会や研修会などで講師として地域に伝わる技能を伝承している。

江戸川総合人生大学

【生きがい/生涯学習】

事業データ

参照 URL: <http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>

活動地域: 東京都江戸川区

運営主体: 江戸川区

事業概要

社会貢献を目指す区民を支援するために江戸川区が設立した、区全体をキャンパスとした新しい大学。区民が「共育」「協働」を学び実践するための場であり、さまざまな知識や経験を持つ区民が、年齢を超えて通学している。

ねこのて手帳

【地域活性】

事業データ

参照 URL: <http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/www/info/detail.jsp?id=4271>

http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/open_imgs/info/0000011896.pdf

活動地域: 広島県尾道市

運営主体: 尾道市

事業概要

地域で高齢者を見守り、支援していくことを目的として、高齢者に優しいサービスを提供している商店・美容院・医療機関などの情報をまとめた冊子。高齢者がスムーズにサービスの利用ができるよう、民生児童委員、介護保険事業所、医療機関、公共施設などに配布している。

NICE！藤井寺 親父パーティー

【生きがい/助け合い/就労】

事業データ

参照 URL: <http://www.tamaki-system.com/oyaji/>

活動地域: 大阪府藤井寺市

運営主体: 藤井寺市・社会福祉法人

事業概要

団塊の世代が長年社会で培った知識を出し合い、認知症になってもいきいき暮らせるまちづくりや地域で支える仕組みづくりを推進する。認知症高齢者と家族のための外出機会を作るイベントや認知症啓発イベントなどの活動を行っている。

まちづくり推進隊

【地域活性/健康づくり・介護予防/生涯学習/就労】

事業データ

参照 URL: http://www.city.mitoyo.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=9060

活動地域: 愛媛県三豊市

運営主体: 三豊市

事業概要

「まちづくり推進隊」は三豊市から認定された自主的に地域コミュニティ活性化のために活動する組織。交付金を受けて、地域資源の保全や資源を有効活用した地域活性イベント、地域活性化の勉強会、市民の健康増進事業などを実施している。市民が積極的にボランティアとして活動に参加している。

事業データ

参照 URL : <http://www.kagoshima-pac.jp/other/info/>

活動地域 : 鹿児島県鹿児島市

運営主体 : 鹿児島市

事業概要

かごしま県民交流センターは、県民の主体的な活動を支援する拠点。高度化する学習ニーズに応える学習活動支援、地域の自治会・ボランティア団体・特定非営利活動法人などの共生・協働活動の支援を行っている。また、介護の実習などを通じて県民への介護知識・介護技術の普及を図る。

棚倉ふるさとガイド

事業データ

参照 URL : <http://www.town.tanagura.fukushima.jp/page/page000156.html>

活動地域 : 福島県東白川郡

運営主体 : 白川郡棚倉町・棚倉町観光協会

事業概要

観光協会が実施する「棚倉ふるさと検定」1級の合格者や、特定の専門分野に秀でた有識者が、ガイドとして観光客にまちの魅力をPRする。郷土愛の醸成によるまちの活力向上を図るとともに、ガイドの仕事を通して生きがいづくりの機会となっている。



もくじ

01 地域包括ケアシステムって何だろう？	09 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」の進め方
はじめよう！ 02 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」	10 みつける「まちを知ろう」
03 私たちが迎えるこれからの社会	11 みつける「まちを分析しよう」
04 「対策」から「創造」へ マインドチェンジ！	12 みつける「まちを分析しよう」
05 高齢者を含めみんなが主役になれるまちへ	13 つなぐ「仲間と共有しよう」
06 「地域資本」が暮らしのサービスの要となる	14 つなぐ「つながりを広げよう」
07 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」が目指すもの	15 つくる「地域資本を創ろう」
08 「おかげさま・お互いさまのまちづくり」出発点	参考 まちづくり実践事例

地域包括ケアシステムって何だろう？ 01

“地域包括ケアシステム” という言葉を聞いたことはありますか？

地域包括ケアシステムとは、団塊世代が75歳以上となる2025年を目標に、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのこと、厚生労働省が提唱するモデルです。

地域包括ケアシステムとは、社会を支える仕組みであり、人々の暮らしの充実をどのように図るのかを考えた上で構築するまちづくりです。地域包括ケアシステムは概念モデルなので、捉え方は様々ですが、「あしん」と「いきいき」の2つの基盤が軸とすることが重要だと考えています。

- 「あしん基盤」とは、医療・介護の連携を行い、住み慣れた地域で高齢になっても安心・安全に暮らせるための基盤。（共助・公助中心）
- 「いきいき基盤」とは、出来るだけ医療・介護の依存を減らし、地域で自立していきいきと暮らしていきけるための基盤。（互助・自助中心）

地域包括ケアシステムを自分の言葉で説明してみましょう。

はじめよう！ “おかげさま・おたがいさまのまちづくり” 02

“地域包括ケアシステム”という、「なんだか小難しい」「自分には関係なさそう」「役所がやる仕事」といったイメージを持たれるかもしれません。

しかし、日々の暮らしの充実をどのように図るのかを考えた上で構築するまちづくりなので、まちで暮らし、暮らしに関わっている人、1人1人がどのような暮らし方をしたいのか、身近な困りごとや要望、未来の姿を考え、「こんなまちであつたらいいな」を1つずつ削り上げていくことから始まります。そのため、正解があるわけではなく、まちごとにその形は異なり、完成形もありません。

私たちは世界一の長寿を手に入れた一方で、超高齢化、人口減少というこれからの時代をどう過ごすか、難しい課題を抱えています。公的社会保障に限りがある中、住み慣れた地域で安心して充実した毎日を送るためには、みんなで知恵を出し合い、まちの状況にあったこれからの自立型地域モデルをつくる必要があります。

そしてこのまちづくりを進めていくために、1つ大切な要件が存在します。それが、住民と住民、コミュニティとコミュニティの間になり立つ「居心地のよい関係性」の構築（再構築）です。

古来から私たちの暮らしの中には、あまりお金をかかずとも、お互いの信頼関係の下、分かち合い助け合う相互扶助の精神がありました。これが居心地のよい関係性であり、これに「信頼」というプラットフォームが成立することで、暮らしの充実を図ることができていました。これは、まちの大きな宝であり力となるものです。

これから創るまちの中には、あなたの居場所、仲間、そしてあなたの経験や知識を大いに活用して担ってほしい役割があります。そして、それぞれのゆるやかなつながりが、まちの姿を充実させる基盤となることでもあります。

私たちはこの素晴らしい姿を「おかげさま・お互いさまのまちづくり」と名付けました。

さあ、今こそ、「おかげさま・お互いさまのまちづくり」一歩ははじめよう。

あなたが住むまち・地域の中で、“おかげさま・おたがいさま”のような居心地のよい関係性はどの程度できていますか？

私たちが迎えるこれからの社会 03

■ 超高齢社会の到来

■ 生産人口の減少

■ 医療・介護給付費の伸び

■ GDP成長率(実質)

あなたが住むまち・地域はどのような状況ですか？具体的な数字で確認してみましょう。

「対策」から「創造」へマインドチェンジ！ 04

これまでの高齢者の問題は、医療・福祉の観点から捉えられることが多く、社会保障などの伸びをいかに抑えられるかといった、課題解決思考の「超高齢者社会の対策」に扱われることが多くありました。

しかし、これから私たちが迎える社会はこれまでに誰も経験したことがない社会です。そしてこの社会の中心的存在となりえる高齢者の多くは、社会の支え手となる体力、気力そして知力も持ち合わせています。元々高齢者が持つ生きがいや自己実現に向けたエネルギーは、まちを支え動かす大きな原動力になるでしょう。

これらから地域包括ケアシステム、社会の変化に合わせながら新しい暮らしの仕組みをつくる「まちづくり」である捉え、「超高齢者社会の対策」から、「超高齢者社会の創造」へ、いかに行うかが、重要な視点になります。このことが、人々の暮らしの充実や持続可能な社会システムにもつながるのではないのでしょうか。

従来

医療・福祉の観点から社会のあり方を考える

↓

超高齢社会の対策 (課題解決思考)

これから

まちづくりの観点から社会のあり方を考える

↓

新高齢社会の創造 (ビジョン思考)

生きがい・自己実現が原動力

これから超高齢社会を迎えるなかで、どのようなまち・地域であつたらいいと思いますか？

